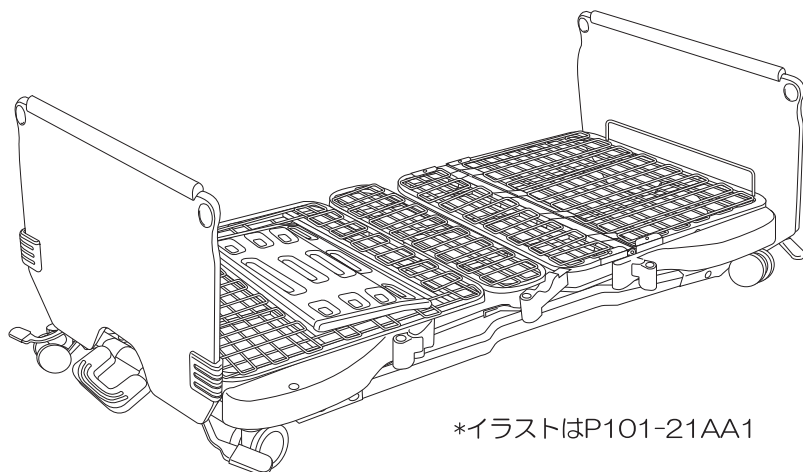


# 取扱説明書

施設用低床電動ベッド



\*イラストはP101-21AA1

●2モーターベッド  
(P101-2シリーズ)

●3モーターベッド  
(P101-3シリーズ)

この度は、施設用低床電動ベッド「アルティレット・トゥーユー」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。この「取扱説明書」は、組み立て・ご使用前に必ずお読みいただき、正しくご使用いただきますようお願い致します。

- 介護が必要な方がお使いになる場合は、介護する方も必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書はお読みになった後も、大切に保管してください。
- 製品を他の人に譲渡される場合は、この取扱説明書も一緒にお渡しください。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または弊社までお問い合わせください。

保証書別添え

商品名	アルティレット・トゥーユー
型 式	♪ P101

○アルティレット・トゥーユーは施設での使用を目的として作られたベッドです。

アルティレット・トゥーユーには次のような特長があります。



背上げ

- 腰や首に痛みがあり、起き上がりが不安な方の起き上がりやすい姿勢を作ります。



ひざ上げ

- ひざ上げで、体に負担のかかりにくい姿勢をつくります。ひざ上げ時につま先の「足先上げ」と「足先下げ」を選択できます。



高さ調節

- 腰やひざに痛みがあり、立ち上がりが不安な方の立ち上がりやすい姿勢を作ります。



ランバー機能

- 腰や首に痛みがあり、起き上がりが不安な方の背上げ時の圧迫感を少なくします。



フィッティング機能

- ひざ部のフィッティング機能で、身長に合わせたひざ上げ位置の調節ができます。

- ボードは取付け、取り外しが容易にでき、伝い歩きとペダルの足元操作を考慮したデザインです。
- 手元スイッチは、片手で持っても、レールに掛けたままでも操作がしやすい形状になっています。
- 脚ボトムとボードの間にサイドレール収納ホルダーがあります。サイドレールを使用しない時は、ここに収納することができます。
- あたま、あし両側に点滴棒取り付け穴があります。点滴棒を取り付けることにより、点滴バッグなどを掛けることができます。
- 中央の3つのホルダーが回転式で収納ができ、車椅子への乗り降りを楽に行うことができます。
- ハルンバッグ用フックを取り付けることによりハルンバッグを取り付けることができます。
- センターロックシステムで、一度のペダル操作でキャスターの首振りと回転が4輪同時にロック / 解除ができます。

## もくじ

■ 使用目的・特長	1
■ もくじ	2
■ 安全にご使用いただくために（ご使用前・ご使用上の警告と注意）	3～8
■ ベッドの設置と移動について	9～10
■ 各部のなまえとはたらき	11

安全のために

■ 開梱と部品の確認（1/4～4/4）	12～14
■ ベッドの組み立て	15～19

組み立てかた

■ 手元スイッチの使い方	◆ 2モーター	20
	◆ 3モーター	21
■ キャスターロック / 解除のしかた		22
■ ランバー機構について		23
■ フィッティングバーの設定について		24
■ ライジングモーション	◆ 目的	25
	◆ 背あし連動 / 背のみの切り替え	26
■ 便利な使いかた		27～28

使いかた・変更のしかた

■ 仕様について	◆ 2モーター	29
	◆ 3モーター	30
■ 適合周辺機器		31
■ お手入れ・点検について		32
■ レール類の組み合わせ		33～34
■ 停電時の背下げ操作方法について		35～36
■ 故障について		37
■ 保証とアフターサービス		38

仕様・保証など

この取扱説明書では、商品を安全に正しくお使いいただき、ご利用者や他の人々への危害や財産への阻害を未然に防止する為に、色々な絵表示をしております。下記をよくお読みいただき、内容をよく理解してから正しくお使いください。

## 警告

この表示の欄は、生命に関わる怪我、または重傷を負う可能性が想定される内容を記載しています。

## 注意

この表示の欄は、傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示



禁止

してはいけない  
「禁止」の内容です



気をつけていただきたい  
「注意喚起」の内容です

### ご使用前の警告と注意



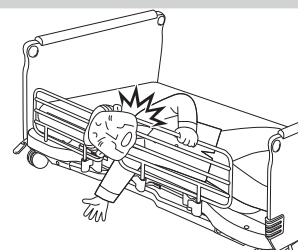
禁止

このベッドは非防水です。屋外では使用できません。  
 ・濡れたまま使用されると、火災や感電の原因になる恐れがあります。  
 ・尿などの水分がモーター、手元スイッチにかかった場合は、電源プラグを抜き、使用せず販売店にご相談ください。



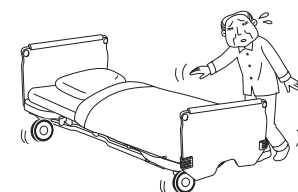
禁止

他社製のサイドレール、ベッド用グリップや、この取扱説明書で指定した周辺機器以外の組み合わせで使用しないでください。  
 ・危険な隙間が発生し、腕や首、頭を挟むなど重大事故の原因になる恐れがあります。



禁止

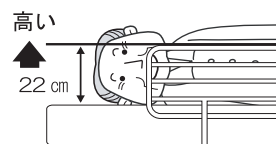
キャスターのロックを解除した状態で放置しないでください。移動した後は必ずロックしてください。  
 ・ベッドからの乗り降りの際、ベッドが移動したり転倒する危険性があります。  
 ・ベッドが壁にぶつかり破損することがあります。



キャスターは必ずロック



体位変換（寝返り等）の際に転落の危険性がありますので、マット面からレールの上まで 22 cm 以上を確保してください。マットレスは、P31「適合周辺機器」で詳細をご確認ください。  
 ・怪我や事故の原因になりますので「適合周辺機器」以外の製品と組み合わせないでください。



洪水や火災などで被災したベッドは電源プラグを抜き、使用前に販売店に点検を依頼してください。  
 ・電気部品のショートなどは、火災の原因となる恐れがあります。  
 ・破損部品があると思わぬ怪我をする恐れがあります。

## ⚠️ ご使用前の警告と注意



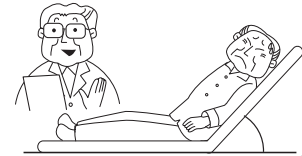
ご使用になられる前に、各部のピン・ボルトが確実に固定されているか、ご確認ください。

- ・ピンやボルトがゆるんでいると、ご使用中にパーツが外れたりすることも考えられ事故の原因になる恐れがあります。



治療中の方やペースメーカーをご使用の方は医師に相談してください。

- ・ベッドの操作が、症状を悪化させる可能性があります。
- ・医師、看護師の指導に従ってください。
- ・背脚の角度によっては床ずれなどの症状を悪化させることがあります。



## ⚠️ ご使用上の警告と注意



禁止

サイドレール収納ホルダーに収納したサイドレールに手をつかないでください。  
・バランスを崩し転倒したり、ボードとサイドレールとの間に手指が挟まれて怪我をする恐れがあります。



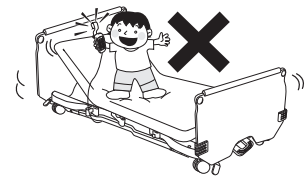
禁止

ご自身での操作が困難な方に操作をさせないでください。怪我や事故の原因となる恐れがありますので、付添いの方がベッド操作をしてください。  
・ご家族に小さなお子様がいる場合、ベッドを使用しない場合は電源プラグを抜いてください。ベッドで遊んで事故や怪我を起こす恐れがあります。



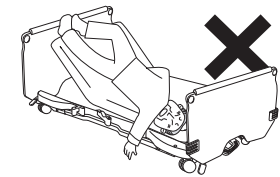
禁止

ベッドに立った状態で手元スイッチの操作をしないでください。  
・転倒などにより怪我や事故の原因になる恐れがあります。



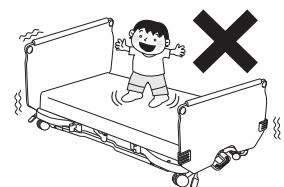
禁止

ベッドにうつ伏せで寝た状態や頭脚逆方向で寝た状態での使用はしないでください。  
・背骨を痛めるなど怪我や事故の原因になる恐れがあります。



禁止

背や脚ボトムを上げた状態で、「ボトムの上に座る」「ボトムの上で飛び跳ねる」「ボトムに飛び乗る」などの行為は絶対にしないでください。  
・怪我や事故、ベッド破損の原因になる恐れがあります。



ベッドを搬送する際は、足元に注意してください。

- ・キャスター操作ペダルに足をぶついたり、キャスターなどに足が挟まれて怪我をする恐れがあります。



使用者を搬送する際は、サイドレールを両側に使用してください。

- ・使用者がベッドから転落して怪我をする恐れがあります。

# ⚠️ ご使用上の警告と注意



モーターの長時間連続使用（2分以上）はしないでください。

- ・加熱により、温度ヒューズが働き動かなくなります。
- ・動かなくなったら販売店にお問い合わせください。

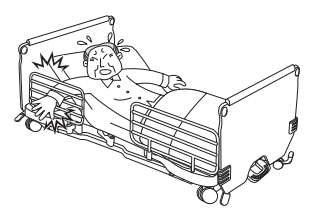
この場合は修理費が発生します。



サイドレール・ベッド用グリップを取り付けてご使用の際に、体の一部（頭、腕、脚）をサイドレール・ベッド用グリップのすき間から出さないでください。また出した状態で背・ひざ操作をしないでください。

- ・骨折など、怪我をする恐れがあります。

安全に使用して頂くためにサイドレール・ベッド用グリップ用安全カバーを別売りにてご用意しております。



電源プラグは濡れた手で触らないでください。

- ・感電する恐れがあります。



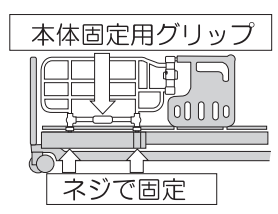
本体の「指はさみ注意」シールが貼られている周囲には手をおかないでください。

- ・骨折など、怪我をする恐れがあります。



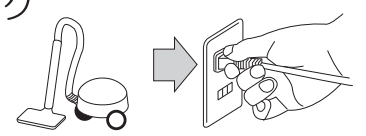
ベッド用グリップ（PZR-AT116J、PF500-116）を使用される場合、本体固定用グリップとベッド下からのネジでしっかりと固定されているか定期的に確認してください。

- ・転倒し怪我や骨折を起こす恐れがあります。
- ・ネジを紛失された場合、販売店にお問い合わせください。



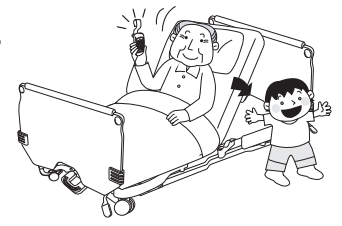
掃除・点検などでベッド下に入る場合は必ず電源プラグを抜いてください。

- ・誤操作によりベッドに挟まれ重傷事故の恐れがあります。



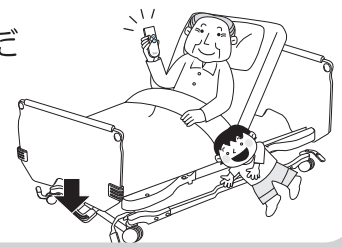
各部の操作をする場合、フレームとボトムの間を手や指を入れしないでください。

- ・骨折など、怪我をする恐れがあります。



ベッドの下にもぐり込んだり、手や足を入れしないでください。

- ・骨折など、怪我をする恐れがあります。



## ⚠️ ご使用上の警告と注意



禁止

濡れた手で手元スイッチの操作をしないでください。水などの液体で、手元スイッチや駆動部を濡らさないでください。

- ・ショートして故障、火災や感電の恐れがあります。
- ・誤作動の原因になる恐れがあります。



禁止

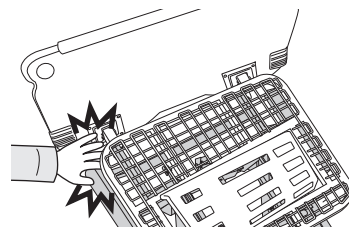
あたま側と足側のペダルを同時に異なる操作をしないでください。

- ・ペダルとボードの間に足を挟むおそれがあります。



禁止

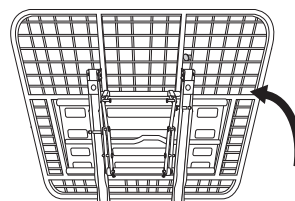
フレームをつかんだ状態で背を下げないでください。サイドレールやフレームの間に指を挟む危険性があります。



禁止

背ボトムを無理に内側に倒さないでください。

- ・故障の原因になります。



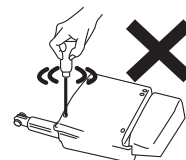
禁止

分解・改造はしないでください。

- ・故障や感電の原因になります。

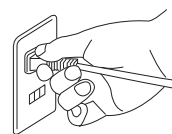


分解禁止



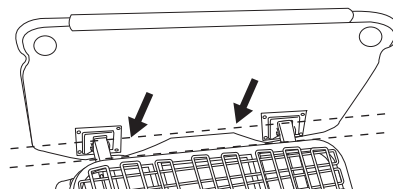
電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。

- ・断線・接触不良により、火災の原因、故障の原因になる恐れがあります。
- ・電源プラグ破損につながります。



ボードと脚ボトムの間に空間があります。

介護する場合に足が入ることがありますのでご注意ください。



介護度が高い方や、背を上げた時に自分で体を保持できず体が斜めになる方の場合、ロングタイプのサイドレール PA501-TU119 かベッド用グリップ PZR-AT116J、PF500-116 を「レール類の組み合わせ」P33・P34 の図のように組み合わせてください。背を上げると支えがなくなり、ベッドから転倒する危険性があります。

## ⚠️ ご使用上の警告と注意

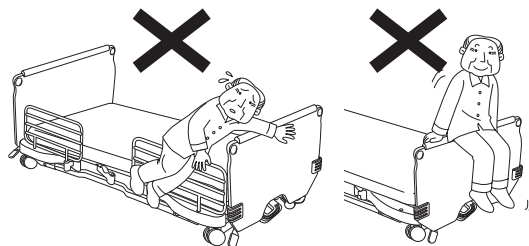


キャスター操作ペダルに乗らないでください。  
・転倒して怪我をしたり、ベッドが破損する恐れがあります。

禁止



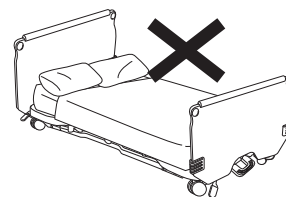
サイドレールやボードをまたいだりしないでください。  
・転倒して怪我をしたり、ベッドが破損する恐れがあります。



ベッド用グリップのスイング部で、足など人体の一部を挟む可能性がありますので、開閉時やベッドの乗り降りの際にはご注意ください。



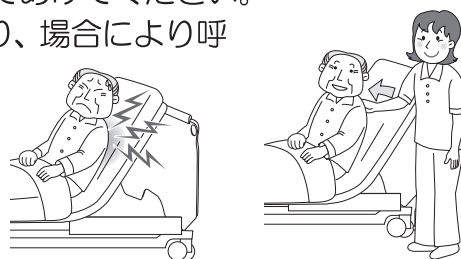
このベッドは一人専用のベッドです。ベッドを二人以上でご使用にならないでください。  
リハビリを行う際、ベッドに座る際、勢いをつけて過度に荷重をかけたりしないでください。



介護者の方へ

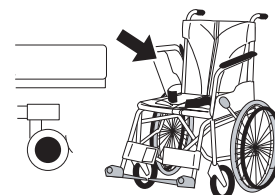
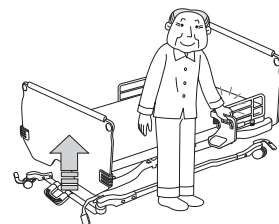
背ボトムを上げると寝ている人の背中全体に加圧(背圧)が生じ放置すると呼吸困難にもなります。これはどのベッドでも構造上避けることができない現象です。これを解消するために背上げが終わった時に、図の様に背とマットの間に手を入れて背を起こし、背抜き(除圧)してあげてください。

・除圧しないと腰痛、床ずれが発生したり、場合により呼吸困難にもなります。



ベッドからの乗り降りの際の転倒事故が多発しています。必ず下記の事を守ってご使用ください。

・ベッド横から乗り降りしてください。  
・睡眠薬を服用の際は、医師から指示された時間内にベッドから立ち上がることはしないでください。  
・車いすへの移乗の際は、ベッド、車いすのキャスターがロックされているかを確認して、乗り降りしてください。





## ⚠️ ご使用上の警告と注意



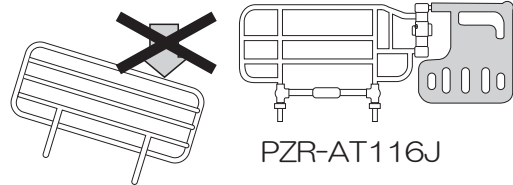
本体に貼ってあるシールは剥がさないでください。お客様を危険から守るための物や故障時に素早い対応をするための物です。

- ・ロット番号から詳細仕様が分かり、的確な対応が可能になります。



サイドレールの端に体重をかけないでください。

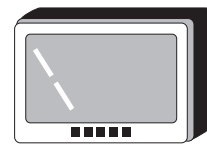
- ・傾いて転倒する恐れがあります。
- ・過度の荷重をかけると破損する可能性がありますので、立ち上がり不安のある方は、このベッド指定の「ベッド用グリップ (PZR-AT116J、PF500-116)」をご利用ください。



PZR-AT116J



モーター作動中にテレビ等にノイズが発生することがございます。予めご了承ください。



温熱治療具などベッドの上で電子治療器を使用される場合は、ベッドの電源プラグを抜いてください。



ベッドを移動する場合はボードを持って移動してください。

- ・サイドレールなどを持つとサイドレールなどに大きな力がかかり、破損や変形する恐れがあります。



段差のある場所での移動は避けてください。

- ・ベッドの破損・変形や故障の原因となる恐れがあります。やむを得ない場合は、ベッドをできるだけゆっくりと動かして移動させてください。



ベッドの高さが低位置でのベッド搬送はしないでください。

- ・ベッドの部品で床を傷付ける恐れがあります。

### ⚠️ リフト使用時の注意



ベッドの下にリフトの脚を挿入し固定する種類があります。使用されるリフトの種類により脚の高さが異なりますので、詳しくは販売店に確認してください。

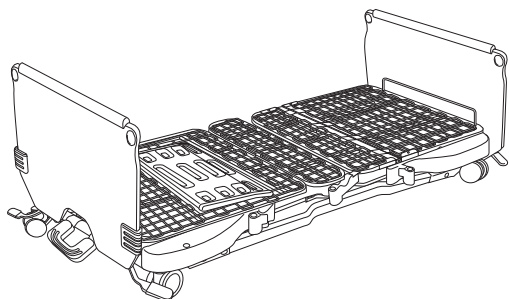
### ⚠️ 停電時の注意



停電時には、電源プラグをコンセントから抜いてください。停電時は電動操作ができませんが、復旧した場合は通常通りご使用できます。停電が長引き、かつ背上げしている状態では使用者の方が、腹部の圧迫により呼吸への悪影響がある場合があります。呼吸が苦しそうであれば、ベッドの使用を直ちに中止してください。「停電時の背下げ操作方法 (P35・36)」もお読みください。

ベッドの設置・組み立て・分解は販売店にご相談いただくか、もしくは本取扱説明書をご覧ください

必ず丈夫で水平な床に設置してください。



ベッドの重量（マットレスや周辺機器を含む）と使用される方の体重（例：80 kg）を合わせると約 200 kg の総重量となります。この荷重に十分耐えられる丈夫で水平な場所へ設置してください。

※最大使用者体重：120 kg

## お願い

●ベッドの周りは出来るだけ広い空間を確保してください。

・療養される方のベッドからの移乗や介護する場合のスペースを充分検討して設置してください。

●電源コンセントの位置から 10 cm 程度離し、昇降時に電源プラグとベッドが接触しないようにしてください。

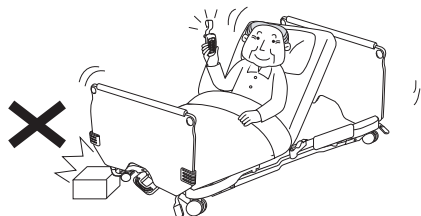
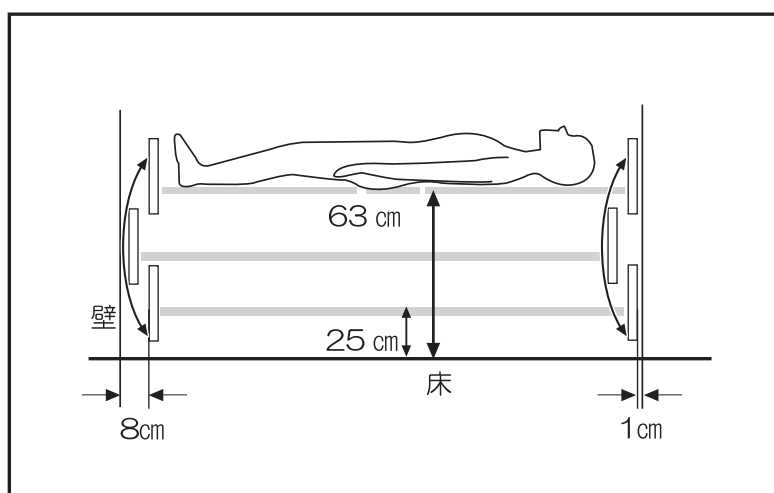
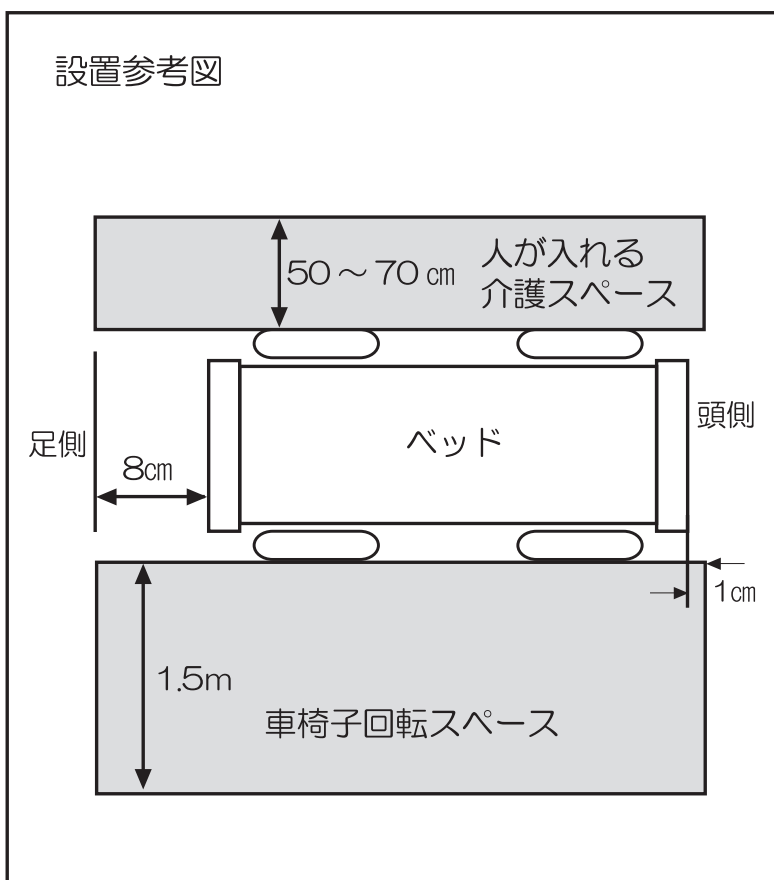
●昇降の際に足側に 8 cm 程度横方向に動きますので、物を置かないようにスペースを確保してください。

●頭側は壁から 1 cm 以上のスペースをあけてください。

●ベッドの下に物を置かないでください。

・昇降時にベッドが破損したり、ベッドが斜めに傾くことがあり危険です。

### 設置参考図



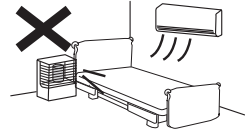
## おねがい



禁止

●ストーブや火気のある物などをベッドの近くに設置しないでください。

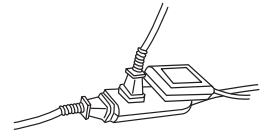
・機器の変形や火災の原因になり非常に危険です。



禁止

●配線器具の定格を超える「たこ足配線」や表示された電圧（100V）以外の電圧では使用しないでください。

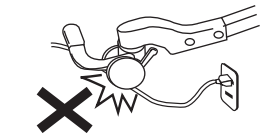
・火災やモーター故障の原因になります。



禁止

●電源コードや手元スイッチのコード等を、引っ張ったり、挟まないようにしてください。

・断線が発生し、感電、発火、モーターの故障の原因になります。



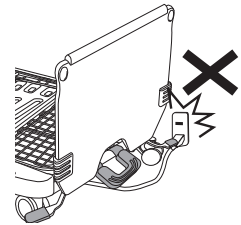
禁止

●組み合わせるサイドレール、ベッド用グリップは下記の型式以外は使用しないでください。

・危険な隙間が発生し、腕や首、頭を挟むなど重大事故の原因になります。

・PA501-TU41・PA501-TU79・PA501-TU119

・PZR-AT116J・PF500-116



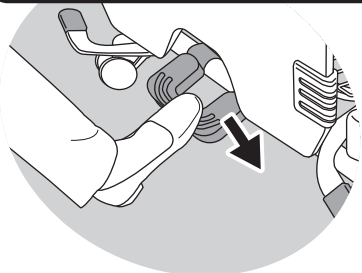
注

●電源コンセントの位置から 10 cm 程度離し、昇降時に電源プラグとベッドが接触しないようにしてください。

・ベッドの昇降や移動時に電源プラグとベッドが干渉すると電源プラグの破損の原因になります。

## 移動について

### キャスターのロック

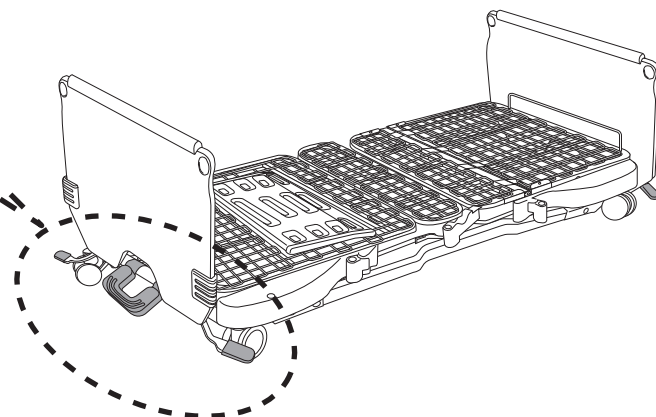


### ロックの解除



あたま側、あし側のどちらからでも操作できます

- 移動する場合は必ず、キャスターのペダルを足先で上げてロックが解除されていることを確認してください。
- ベッド設置後は必ず、キャスターのペダルをしっかりと踏み込んでロックしてください。
- キャスターがロックされた状態でベッドを無理に動かすと、故障の原因となりますので絶対に行わないでください。
- ベッド移動時以外は、必ずキャスターをロックしてください。

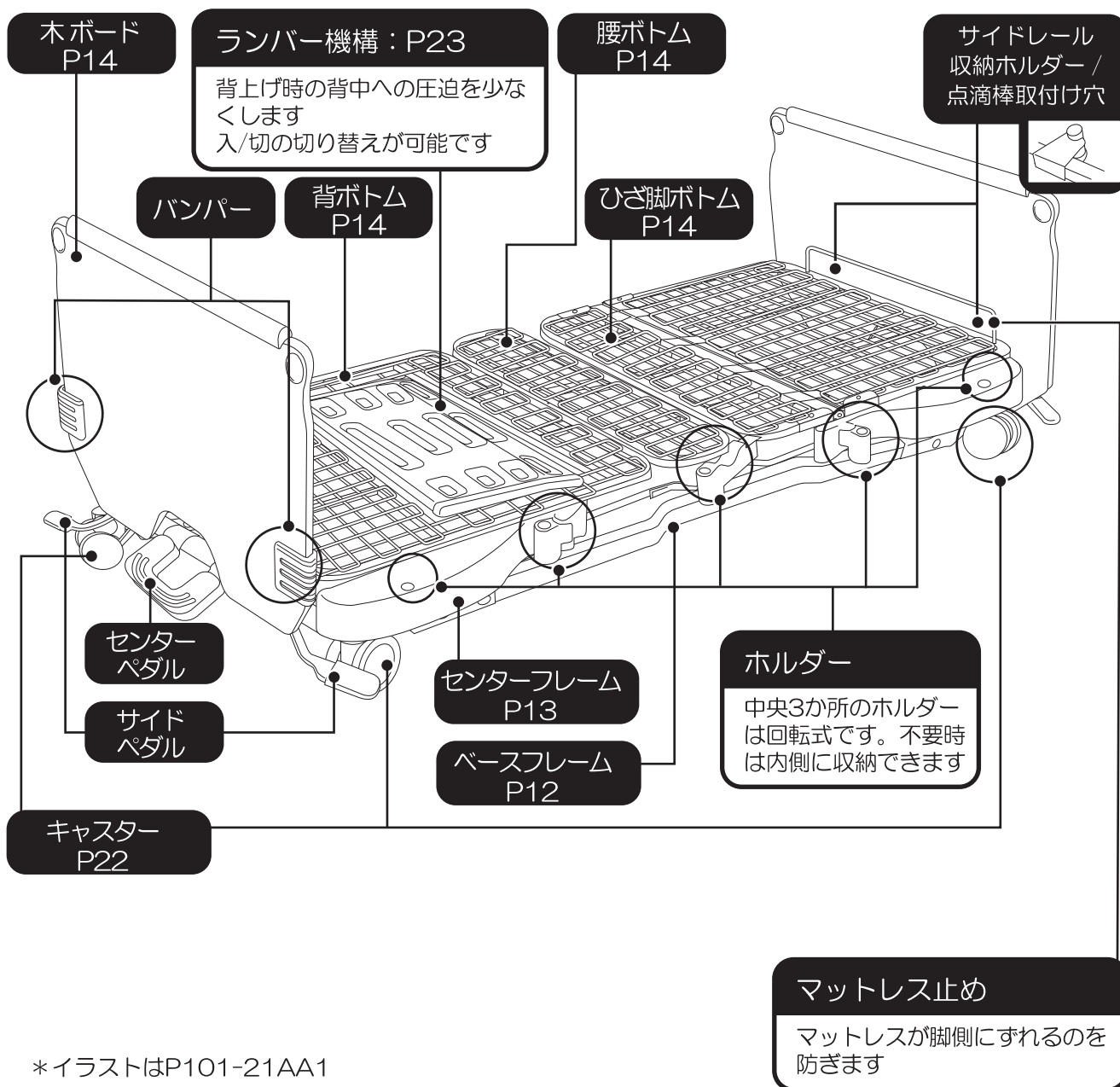


## 手元スイッチ…P20/21

- ベッドの操作を行うことができます。
- 上部のフックでサイドレールに引っ掛けることができます。

	2モーターベッド (P101-2シリーズ)	3モーターベッド (P101-3シリーズ)
手元スイッチ外觀		
	手元スイッチ型式 BD-825	手元スイッチ型式 BD-826

\*仕様変更により、イラストと仕様が異なる場合があります



\*イラストはP101-21AA1

●商品が到着した時点で、下記の部品が全て同梱されているか、また、破損していないか下記欄へチェックをしながら確認をしてください。万一、部品の不足や破損があった場合は、販売店または弊社までご連絡ください。

(例)

割りピン × 7

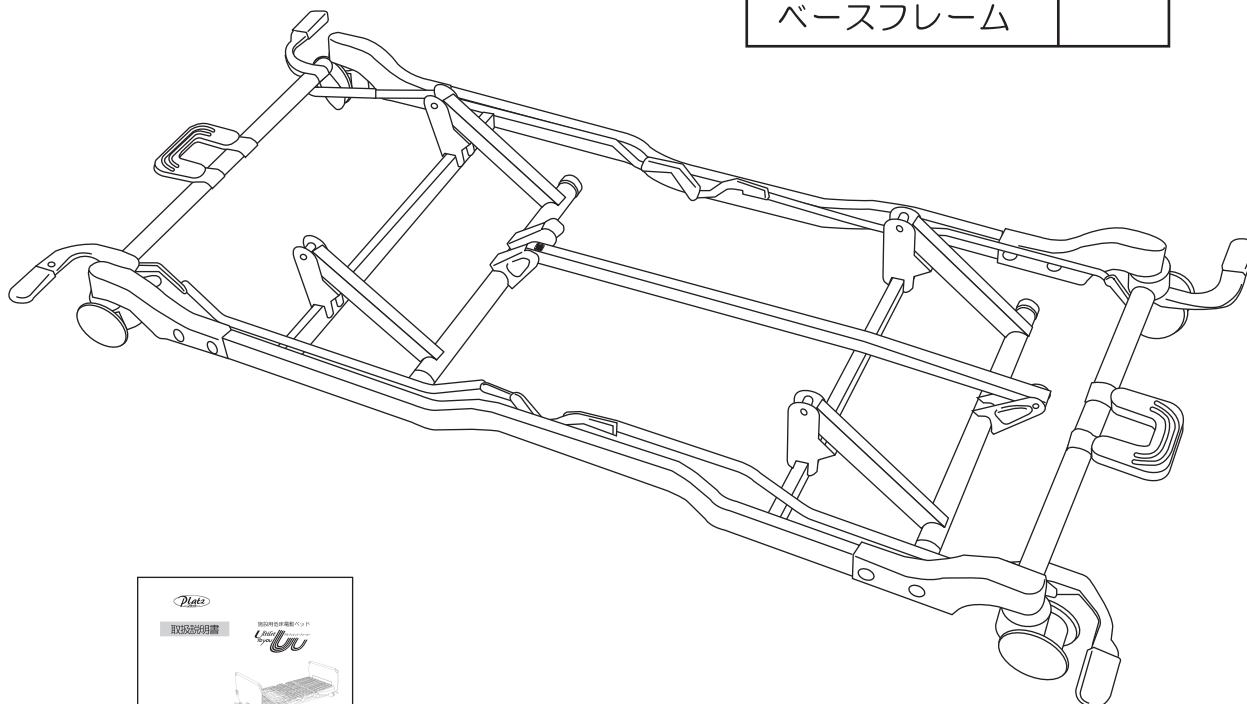


## ベースフレーム

梱包 (1/4)

全機種共通

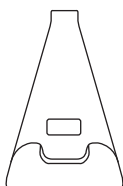
ベースフレーム



取扱説明書 (本書)

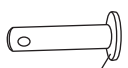
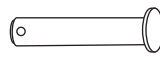





保証書



ハルンバッグ用フック

組み立てに必要な部品が入っています  
1/4 梱包以外の組み立てにも必要です

ピン(短)		×1	
※ピン頭が精円です			
ピン(長)		×2	
ロックプレート		×4	
割りピン		×7	
手元スイッチ裏フタ		×1	

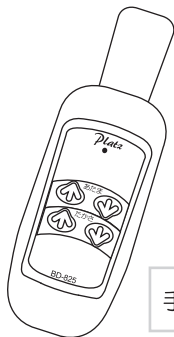
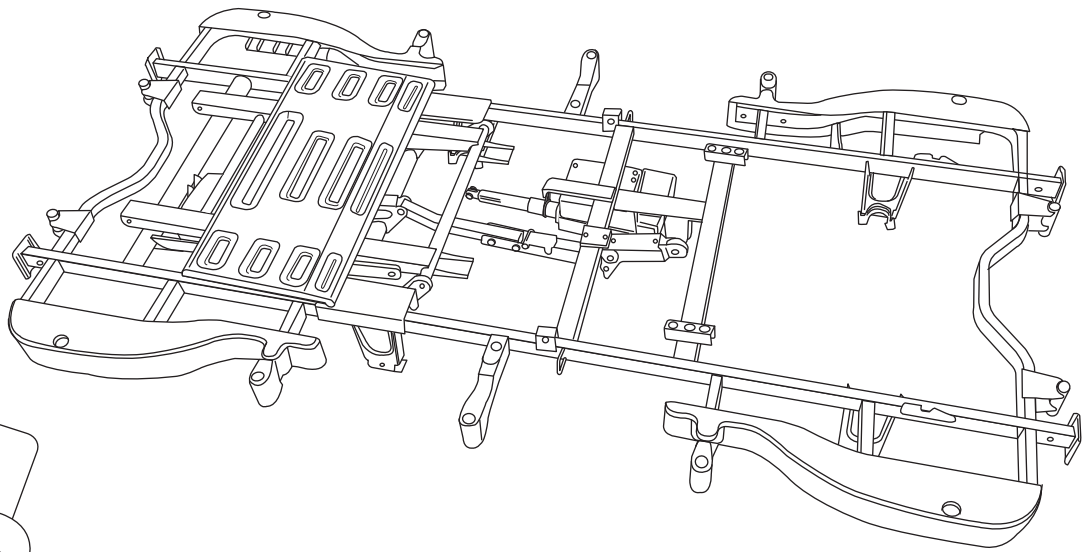
確認してください

ベースフレーム (1/4)

開梱と部品の確認

センターフレーム  
梱包 (2/4)

2 モーターベッド



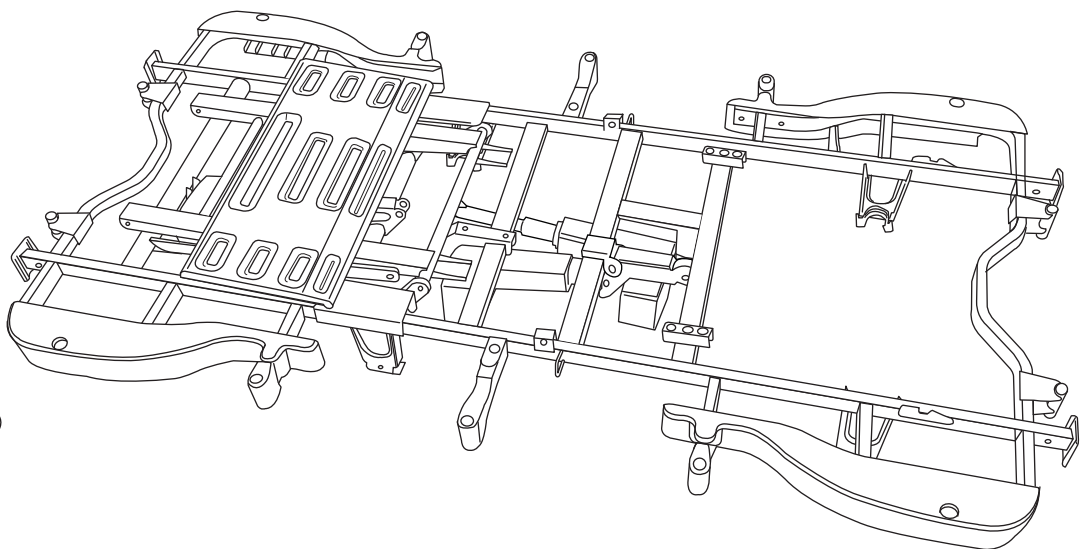
2 モーターベッド  
(P101-2シリーズ)

手元スイッチ (BD-825)

センターフレーム

センターフレーム  
梱包 (2/4)

3 モーターベッド



3 モーターベッド  
(P101-3シリーズ)

手元スイッチ (BD-826)

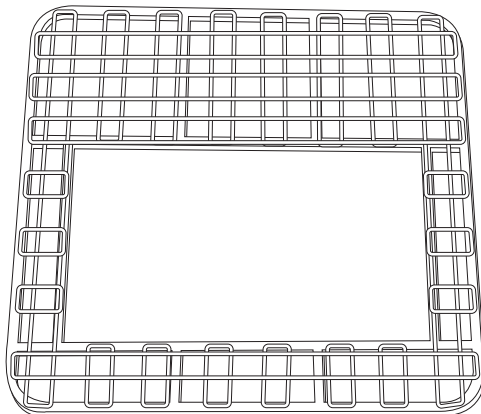
センターフレーム

背ボトム・腰ボトム・ひざ脚ボトム

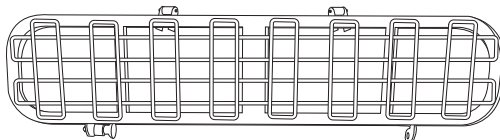
梱包 (3/4)

全機種共通

背ボトム

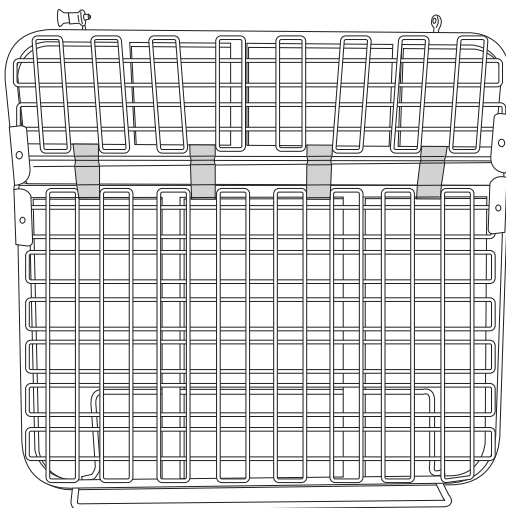


腰ボトム



※ひざボトムと脚ボトムは一体です

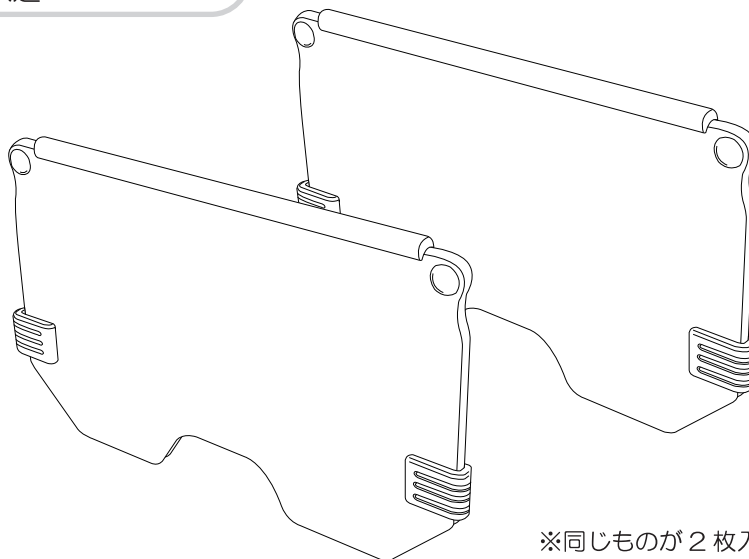
ひざ脚ボトム



木ボード

梱包 (4/4)

全機種共通



※同じものが2枚入っています

木ボード×2

ピン  
の色  
について

- 黒 黒色のピンは取り外ししません
- 銀 銀色のピンは取り外します
- 金 金色のピンは必要に応じて取り外します



組み立ての際に、手や指をはさまないようにご注意ください

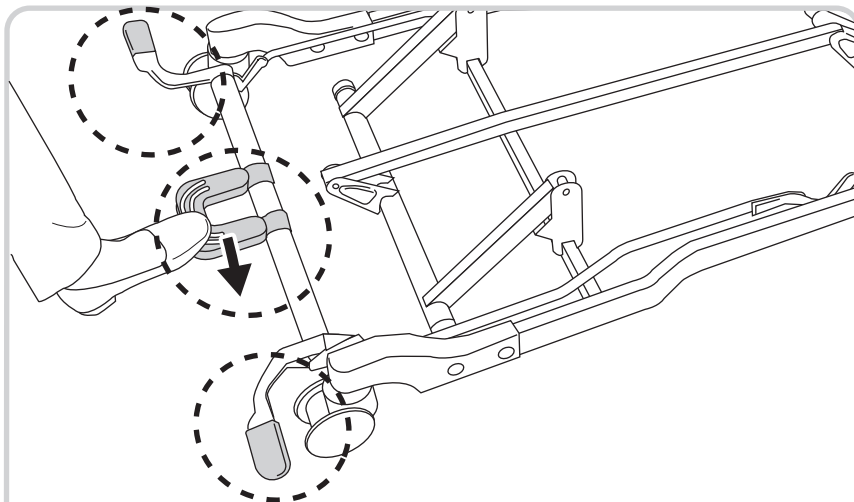
## 組み立てかた

# 1

### ベースフレーム 梱包 (1/4)

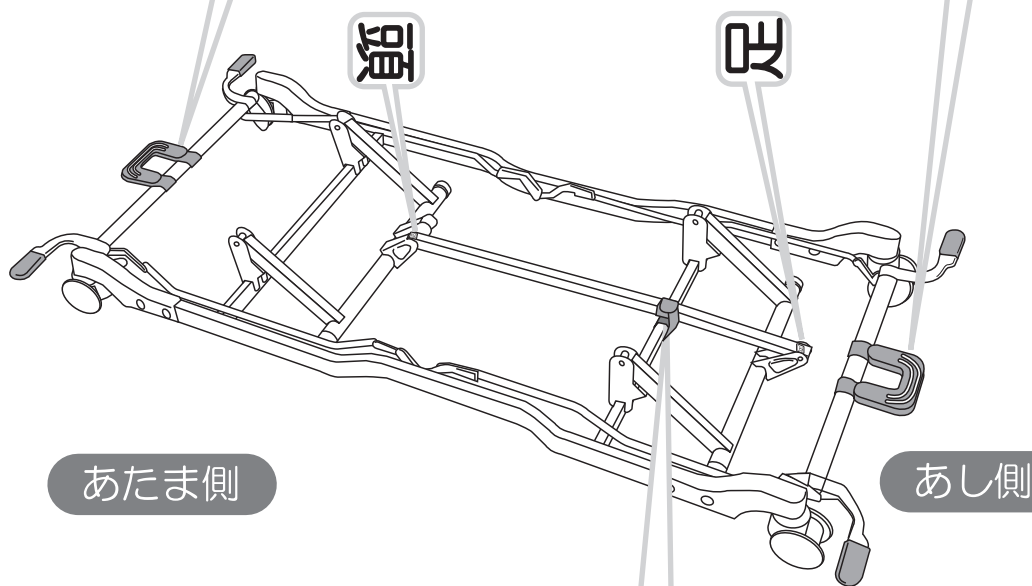
ベースフレームを準備します

- ①組み立て前に必ずキャスターをロックしてください
- ②あたま側、あし側の位置を確認してください
- ③連結バーの固定テープを外してください



①あたま側、またはあし側のペダルを踏み込むと4輪同時にキャスターの首振りと回転がロックされます

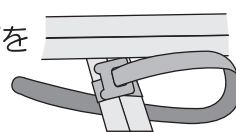
②あたま側、あし側の位置を確認してください



あたま側

あし側

③連結バーの固定テープを外してください



組み立て前に必ずキャスターをロックしてください

連結バーの固定テープを外してください

組み立てかた

2・3 モーターベッド

ベースフレーム (1/4)



# 2-1

## センターフレーム 梱包 (2/4)

センターフレームを  
ベースフレームに  
取り付けます

- ①センターフレームの  
あし側2箇所を  
ベースフレームの  
昇降アーム両端に  
載せてください
- ②センターフレームの  
あたま側2箇所を  
ベースフレームの  
昇降アーム両端に  
載せてください
- ③センターフレーム・ベ  
ースフレームの4箇所  
にロックプレートを  
右図のように取り付  
けてください

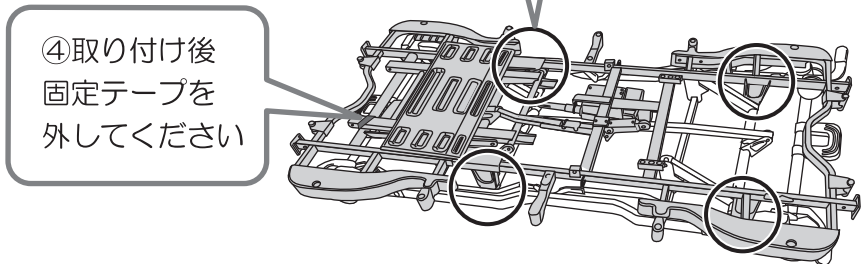
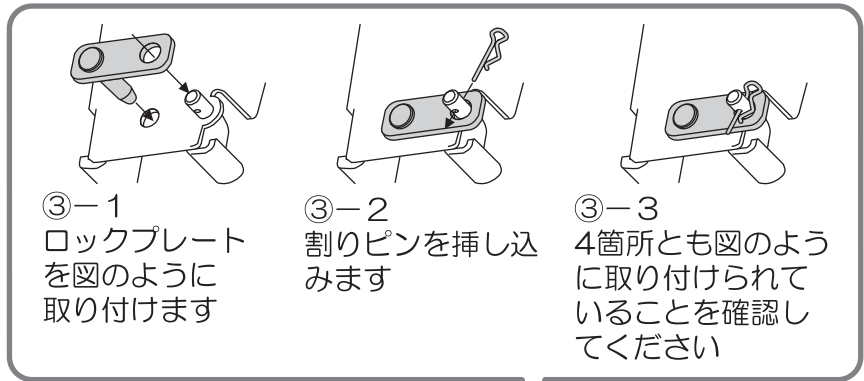
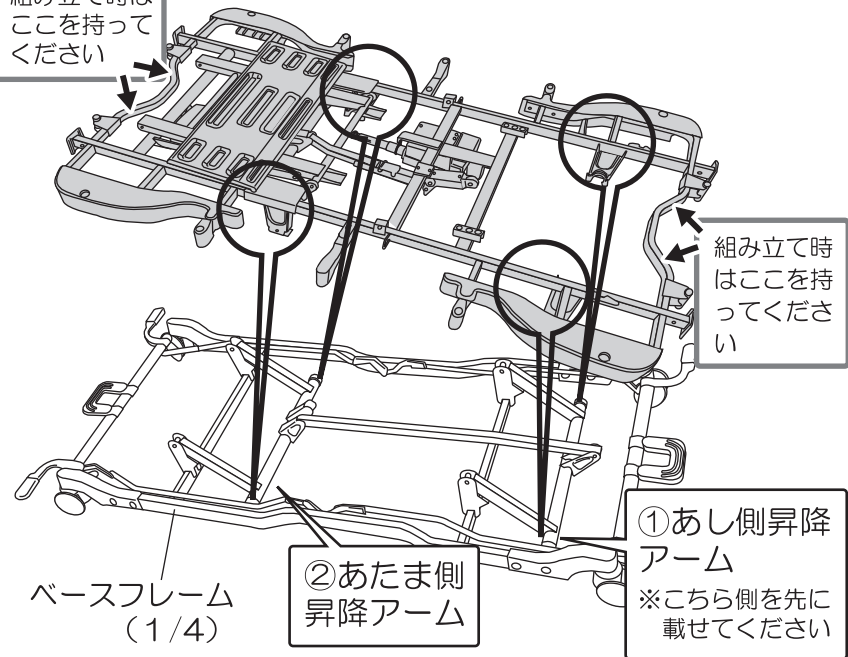
### ⚠ 警告

このピンが外れるとベッド  
が転倒し危険です

あたま側

あし側

組み立て時は  
ここを持って  
ください



# 2-2

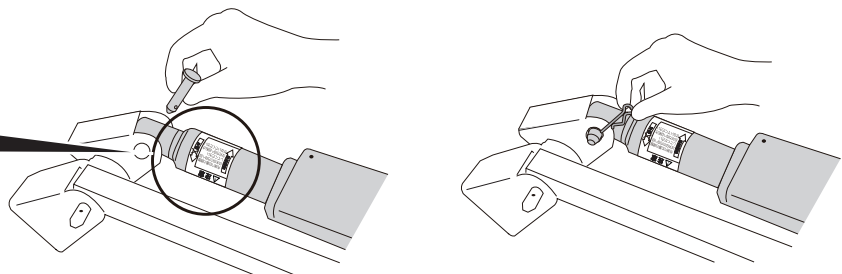
昇降モーターを  
ピン(短)で取り付けます

### ⚠ 注意

モーター先端穴位置の調整は  
「注意シール」の矢印方向へ  
回してください  
反対方向へ回転させないで  
ください

- ①昇降モーターの穴に  
ピンを通します

- ②ピンの穴に  
割りピンを挿します

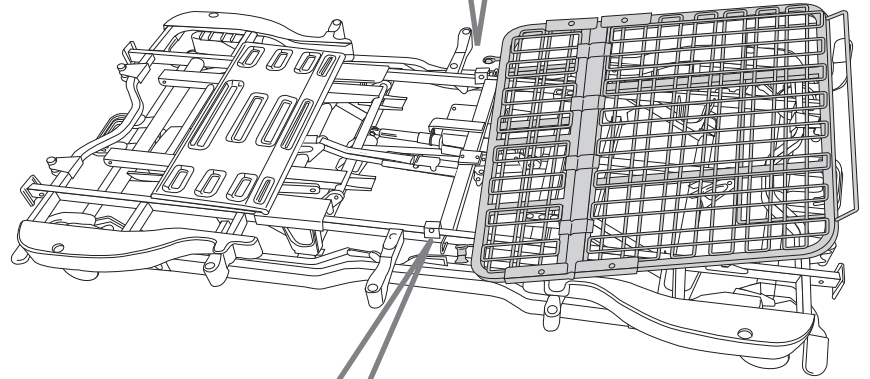
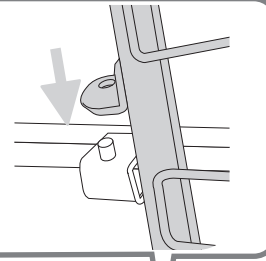


# 3-1

背ボトム・腰ボトム・  
ひざ脚ボトム  
梱包 (3/4)

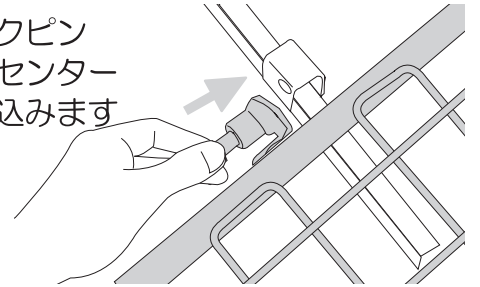
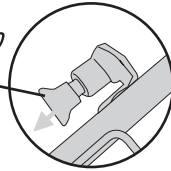
ひざ脚ボトムを  
取り付けます

①ひざ脚ボトムの  
穴を、センター  
フレームの突起  
に押し込みます



②ひざ脚ボトムのロックピン  
を引っ張りながら、センター  
フレームの穴に押し込みます

ロック  
ピン



組み立てかた

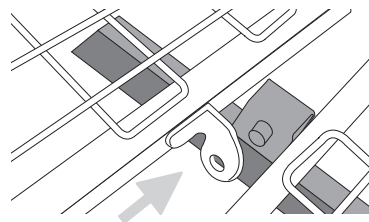
2・3 モーターベッド

ひざ脚ボトム・腰ボトム(3/4)

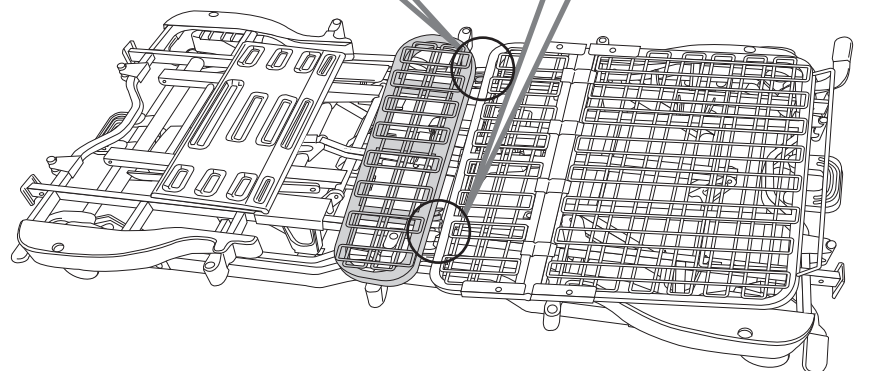
# 3-2

腰ボトムを  
取り付けます

①腰ボトムの穴を、セン  
ターフレームの突起に  
押し込みます



②腰ボトムのロックピンを  
引っ張りながら、センタ  
ーフレームの穴に押し込  
みます



あたま側

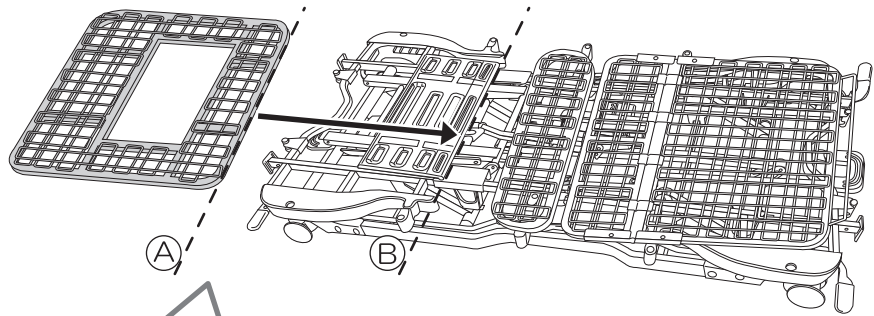
あし側

# 3-3

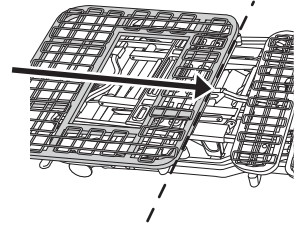
## 背ボトム・腰ボトム・ ひざ脚ボトム 梱包 (3/4)

背ボトムを取り付けます

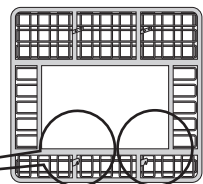
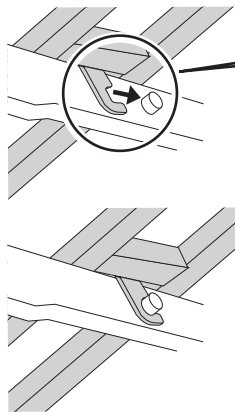
ランバー機構は入/切を選  
ぶことができます  
入/切の切り替え方は  
P23をご覧ください



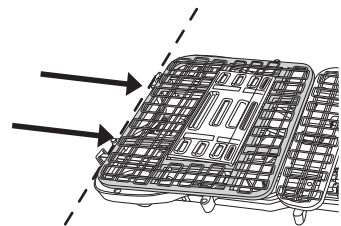
- ①背ボトム①位置をランバー②位  
置に合わせながら、背ボトムをセ  
ンターフレームに載せます  
背ボトムを矢印方向にスライドさ  
せます  
(上図・右図参照)



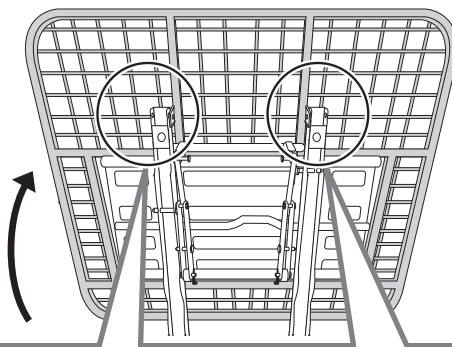
- ②背ボトム裏側引っ掛け部に  
背ボトムを押し込むように  
して引っ掛けてください



背ボトム裏面

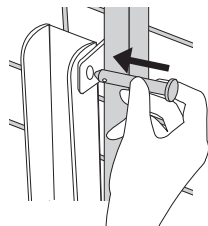


- ②の部分が確実に引っ掛かっているのを確認します  
ピンを挿し込むために、背ボトムを少し持ち上げます

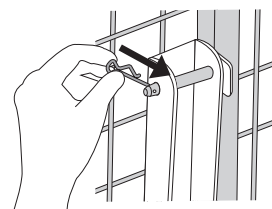


※指を挟まないよう  
注意してください

- ③背ボトムとランバーの穴を  
合わせ、ピン(長)を挿し込  
みます



- ④ピン先端の穴に割りピン  
を挿し込みます



※左右2箇所とも挿し込んでください  
ピンが挿し込み難い場合は、②の部分  
がしっかり引っ掛かっているか、③の  
背ボトムとランバーの穴が合っているか、  
もう一度確認しピンを挿し込んで  
ください

### ⚠ 確認

背ボトムがしっかり  
取り付けられているか  
確認してください

# 4-1

## 木ボード 梱包(4/4)

ボードを  
取り付けます

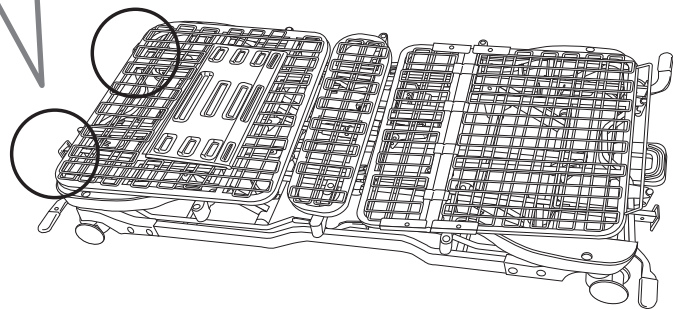
- ①ヘッドを真上から  
取り付け部へ挿し  
込みます

取り付け部

ピン

- ②本体に付いている  
ピンをボードにし  
っかり挿し込んで  
ください

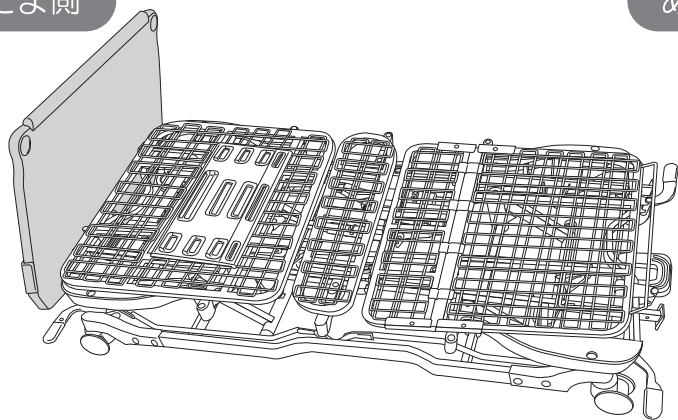
※2箇所とも挿し込んでください



※ボードは、2枚全く同じです

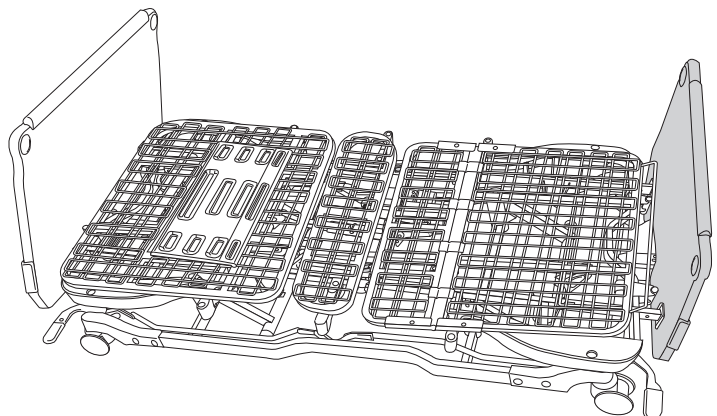
あたま側

あし側



# 4-2

同様にあし側にも  
取り付けます



 **確認**

ボードのピンがしっかり挿し  
込まれているか確認してくだ  
さい

※ベッドの分解方法は、組み立て方法を参照に  
逆の手順で行ってください

## 2 モーターの手元スイッチ

### 使用上の注意

- ベッドの下にお子様やペットはいませんか？また、物はありませんか？
- ボードに当たるものは、ボードから8cm以上離れていますか？
- 「動かすよ」と、一声かけて使いましょう。

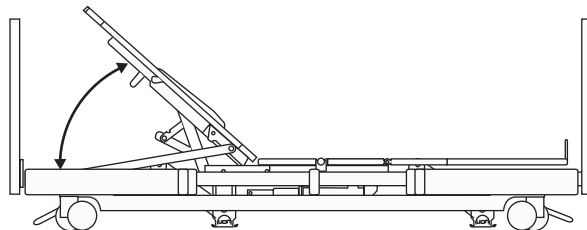
2モーターベッド  
(P101-2シリーズ)  
手元スイッチBD-825

### あたまボタン

背ボトムの角度を70°、  
ひざ角度を25°まで  
無段階に調整できます

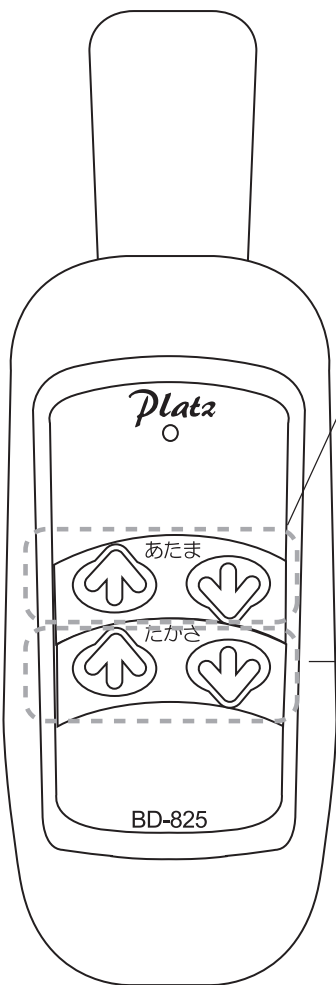
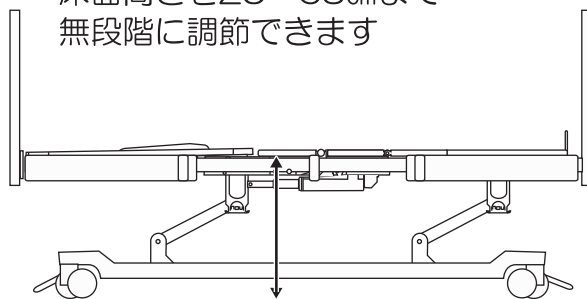
\*下記参照ページもご覧ください

- ランバー機構：P23
- ライジングモーション：P25
- 背上げのみ/背ひざ連動：P26



### 高さボタン

床面高さを25~63cmまで  
無段階に調節できます



※仕様変更により、イラストと仕様が異なる場合があります



警告

ベッドを一定の期間使用しない場合や、介護者が長時間ベッドから離れる場合は電源プラグを抜いてください。  
誤操作による事故の恐れがあります。



注意

操作は必ずベッドに寝た状態で行ってください。  
ベッドに立った状態や座った状態での操作はケガをする恐れがあり危険です。

2つ以上のボタンを同時に押さないでください。  
手元スイッチやモーターの故障の原因になります。

手元スイッチを操作する際は、ペダルをロックしてください。

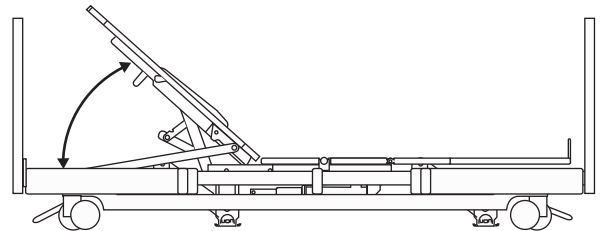
## 3 モーターの手元スイッチ

3モーターベッド (P101-3シリーズ)  
手元スイッチBD-826

### あたまボタン

背ボトムの角度を70° まで  
無段階に調整できます

\*下記参照ページもご覧ください  
●ランバー機構：P23



### あしボタン

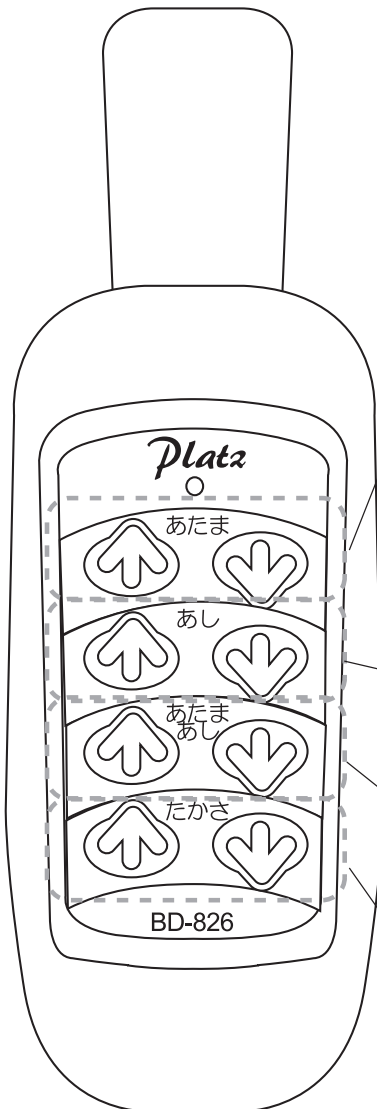
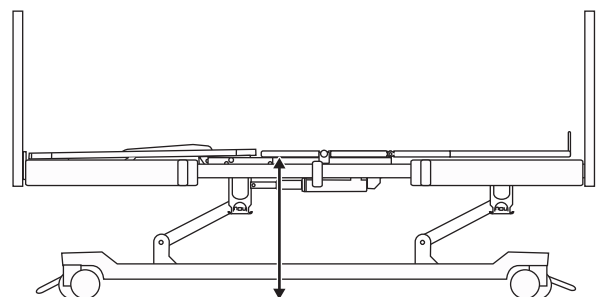
ひざ脚ボトム角度を18° まで無段階  
に調整できます

### あたま あしボタン

背ボトム・ひざ脚ボトム角度を  
同時に調整できます

### 高さボタン

床面高さを25~63cmまで  
無段階に調節できます

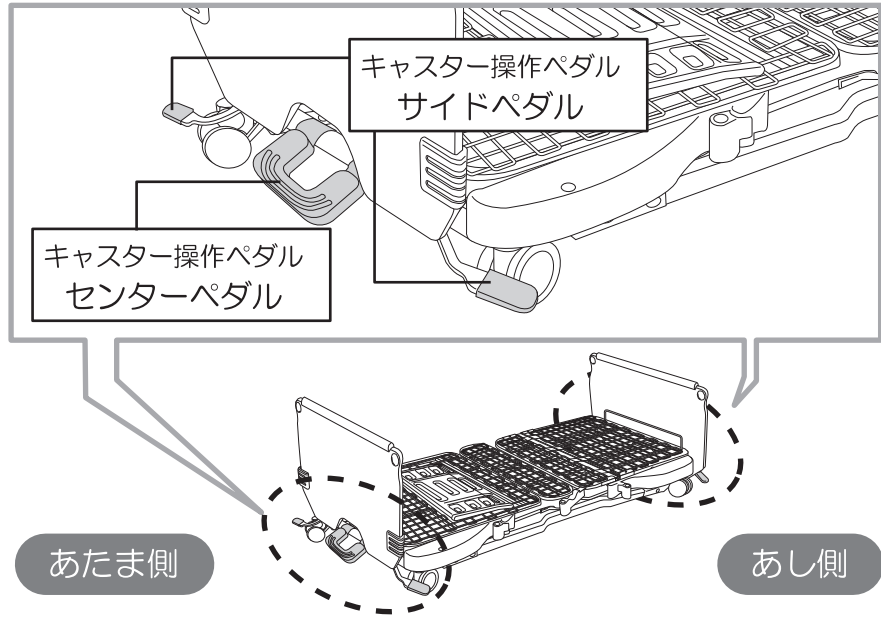


# キャスターロック / 解除のしかた

## センターロックシステム

センターペダル、あるいはサイドペダルを一度の操作でキャスターの首ふりと回転が4輪同時にロック/解除できます

※あたま側、あし側のどちらからでも操作できます



使いかた

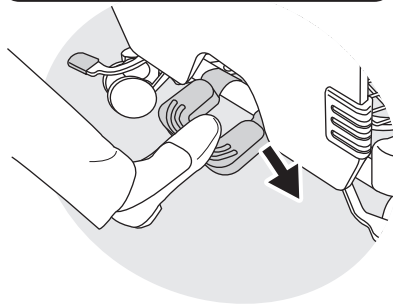
キャスターロック / 解除のしかた

## ロックのしかた

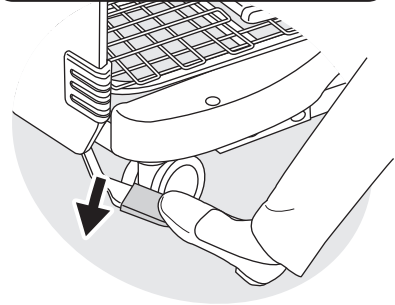
センターペダル、あるいはサイドペダルを踏み込むと、キャスターの首ふりと回転が4輪同時にロックされます

必ず、最後までしっかり踏み込んでください

### センターペダルのロック操作



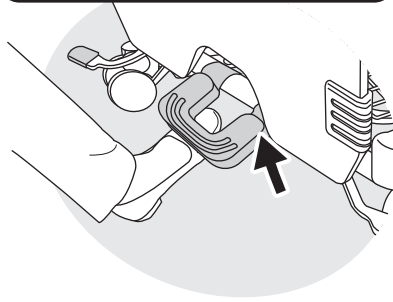
### サイドペダルのロック操作



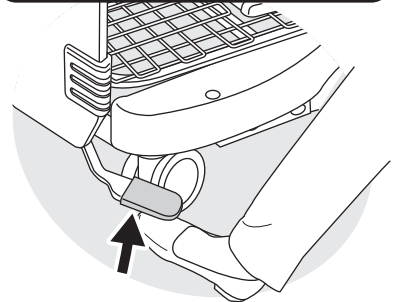
## ロック解除のしかた

解除する時は、センターペダルあるいはサイドペダルをつま先で上げてください  
4輪同時に解除されます  
ペダルは必ず最後まで上げてください

### センターペダルのロック解除



### サイドペダルのロック解除



- キャスターをロックする時は、キャスター操作ペダルと床などとの間にあしなどがはさまれないように注意してください  
けがをする恐れがあります
- キャスター操作ペダルは一人で操作してください
- キャスターがロックされた状態でベッドを無理に動かさない  
てください  
ベッドが故障したり床などを傷つける恐れがあります
- キャスターペダルに体重をかけないでください
- キャスターは定期的に点検してください  
使用の頻度や環境により、キャスターは摩耗・劣化します  
ロック機能が低下したり、車輪部に変色・亀裂などがある  
場合は修理などのアフターサービスを依頼してください

## 警告

ベッドを移動させるとき以外はキャスターをロックしてください

# ランバー機構 入 / 切の切り替え

ランバー機構は初期設定は“切”になっていますが、入/切の切り替えができます

## ランバー機構の特長

- 背圧軽減に向け、背上げ時は「背抜き機構」、背下げ時は「牽引感（背が引っ張られる感覚）軽減」を、ランバーの動きで実現します。  
※ランバーは、背15度で動き始め⇄背45度で最高位（37mm浮き上がり）⇄背65度でフラット状態に戻ります
- ランバー機構を使うと、背上げて起きてきた時に感じる痛みや圧迫が少ないため、より楽に過ごせます
- 円背の方、脊椎の動きが硬くなった方や柔軟性の少なくなった方は、「ランバー機構“切”」のご利用を選択できるようにもなっています



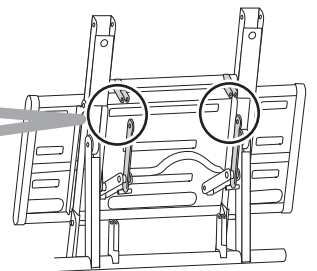
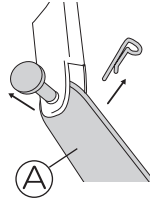
ランバー“切”



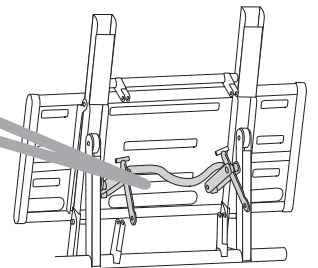
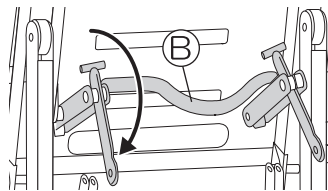
ランバー“入”への切り替え

- ①手元スイッチを使い背ボトムを一番上まで上げます
- ②電源コードを抜きます

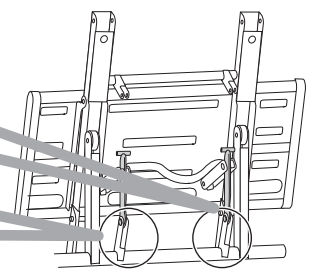
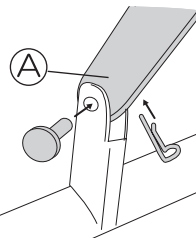
- ③ランバー裏側の上部2箇所から  
 ①A 先端の割りピンとピンを抜きます



- ④ランバー裏側の②Bを回転させます



- ⑤ランバー裏側の下部2箇所に  
 ①A 先端を挿し込みピンと割りピンで取り付けます



- ⑥電源コードを挿してください
- ⑦手元スイッチ「あたまボタン」を操作し、ランバーが“入”になったかを確認してください

ランバー“入”



ランバー“切”への切り替え

- ①上記①②を行ってください
- ②上記③から⑤を、逆の順番で行ってください
- ③電源コードを挿してください
- ④手元スイッチ「あたまボタン」を操作し、ランバーが“切”になったかを確認してください



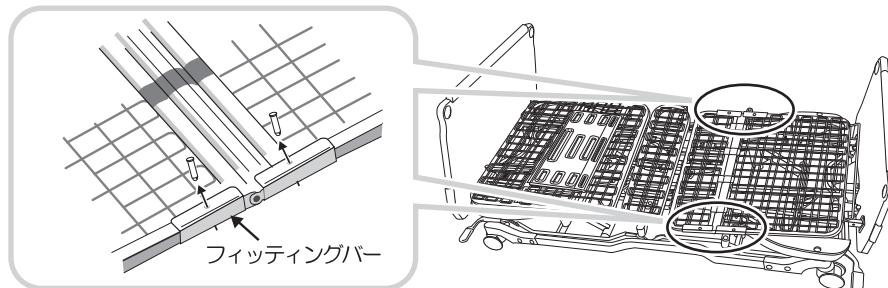
# フィッティングバーの設定

フィッティング  
の目的

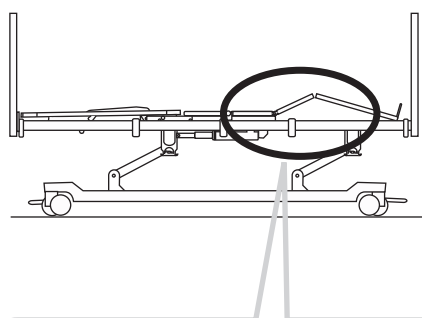
利用者のひざの位置に合わせて脚ボトムを2段階に調整することができるため、ベッド上でのズレを軽減します

フィッティングバー  
の調節方法

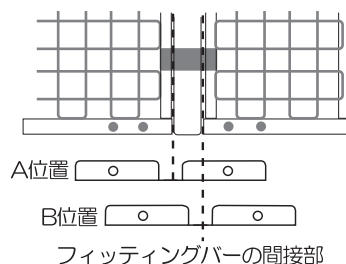
- ①左右のフィッティングバーのピンそれぞれ2本を上を外します



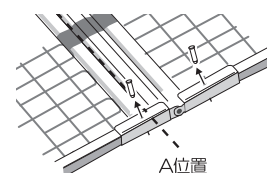
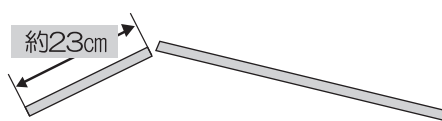
- ②A位置、B位置のいずれかを選び、フィッティングバーをスライドさせて穴位置を合わせます  
③左右それぞれ2箇所ピンを挿入します



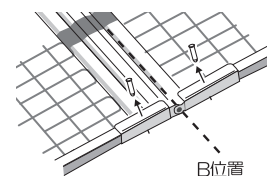
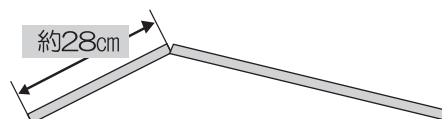
※フィッティングバーの間接部を下図の位置に合わせてください



A位置：適応身長目安135～175cm



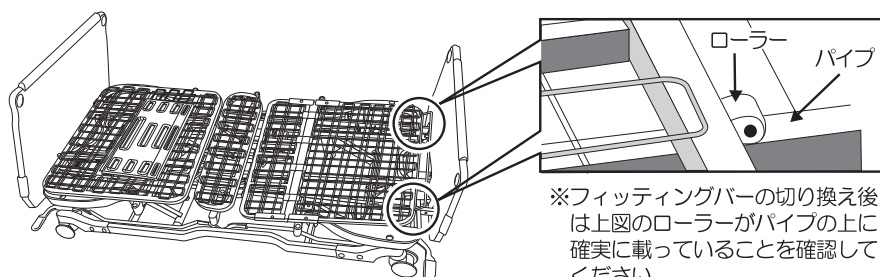
B位置：適応身長目安175cm～



※初期設定はA位置に合わせています

**!** 確認

左右同じ位置に  
ピンが挿されているか  
確認してください



※フィッティングバーの切り換え後は上図のローラーがパイプの上に確実に載っていることを確認してください

使いかた

フィッティングバーの設定

# ライジングモーション

## ライジングモーションの説明 (2モーター)

ライジング  
モーションの  
目的

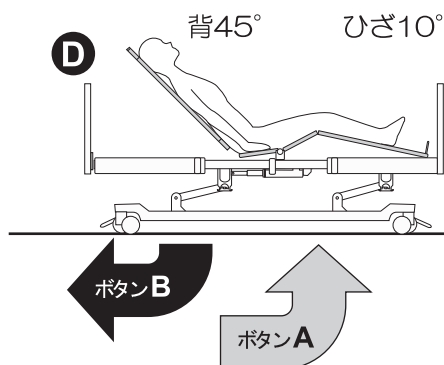
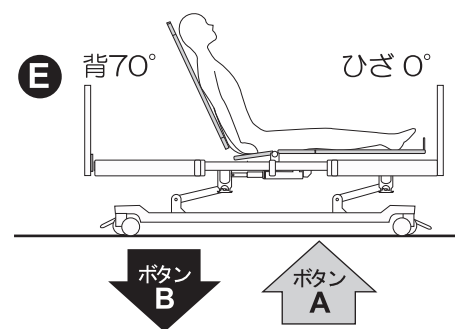
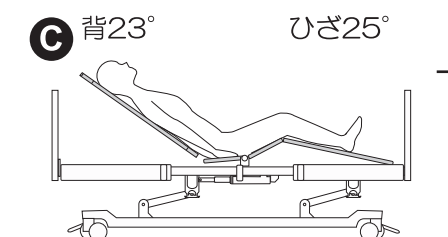
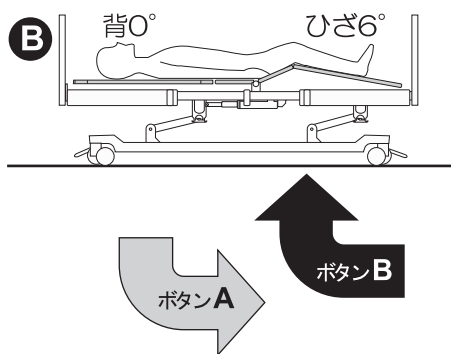
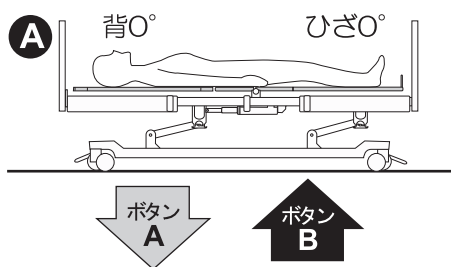
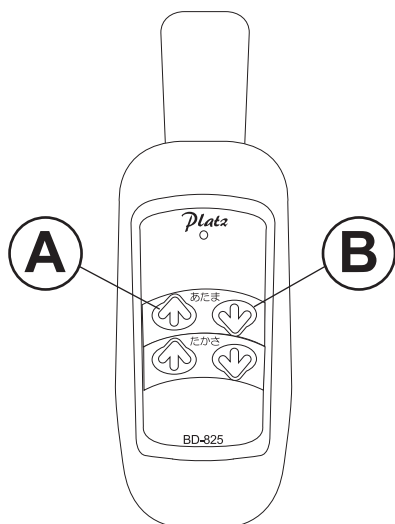
どの角度においても背とひざの角度は90度以上のため、  
腹部圧迫を軽減します  
※特殊なリクライニング動作で背上げ時のお尻のスレを防止します

### 背を上げる場合

- ボタン(A)を押し続けることにより
- ①ひざが上がりはじめます (図(B))
  - ②ひざが25°、背が23°になるまで上がり続けます (図(C))
  - ③その後ひざが下がりはじめ、背が上がり続けます (図(D))
  - ④ひざが下がります (図(E))

### 背を下げる場合

- ボタン(B)を押し続けることにより
- ①背が下がりはじめ、次にひざが上がりはじめます (図(D))
  - ②ひざは25°になるまで上がり、  
背が23°になるまで下がり続けます (図(C))
  - ③背とひざが下がり、先に背が水平になります (図(B))
  - ④ひざも水平になります (図(A))



# ライジングモーション 背あし連動 / 背のみの切り替え

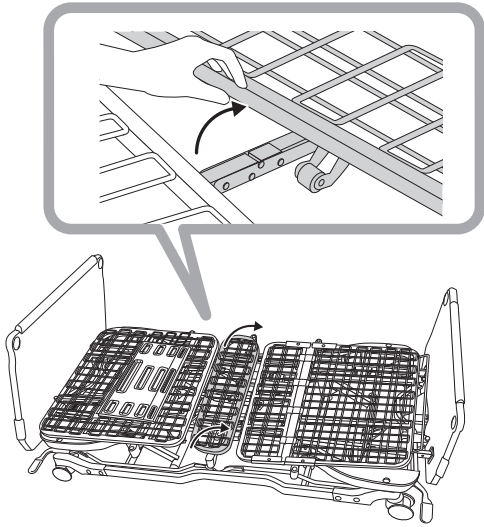
背あし連動



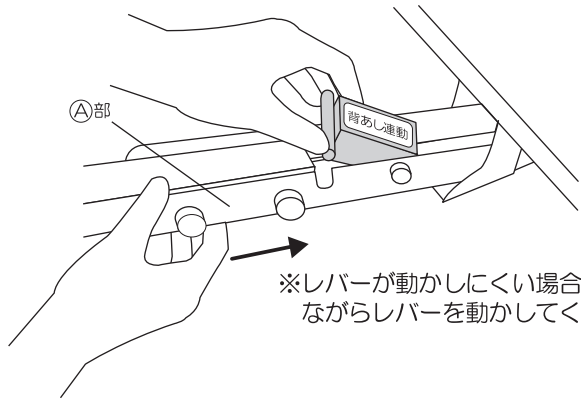
背のみ

レバー操作で切り替えることができます

- ①手元スイッチを使い背ボトム、脚ボトムを完全に下げます
- ②電源コードを抜きます
- ③手で腰ボトムを上げてください

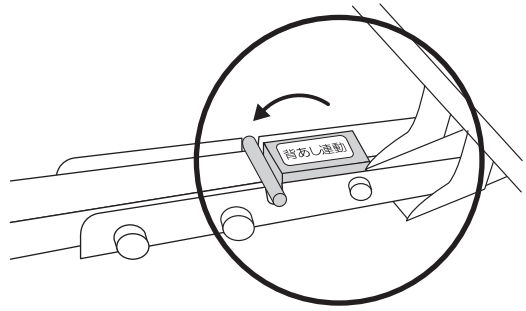


- ④「背あし連動」か「背のみ」を選び、選んだ方へつまんだレバーが止まるまで倒します

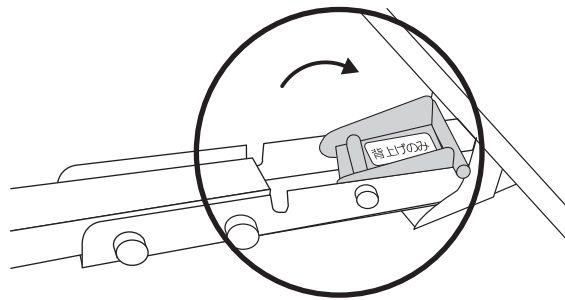


※レバーが動かしにくい場合はA部を矢印方向へ押しながらしバーを動かしてください

背あし連動



背のみ



- ⑤腰ボトムを戻し、電源コードを挿してください
- ⑥手元スイッチを操作し、選んだ方に動くようになったかを確認してください

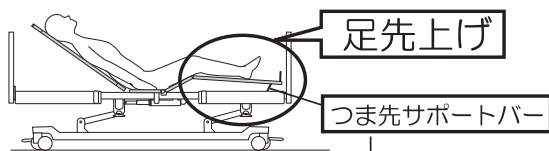
使いかた 背あし連動 / 背のみの切り替え

# 便利な使いかた

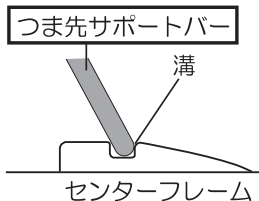
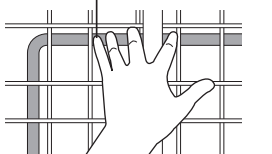
## 選べるつま先

足のむくみ等の軽減に、“つま先サポートバー”の位置でつま先の「足先上げ」「足先下げ」が選べます

「足先上げ」設定のしかた



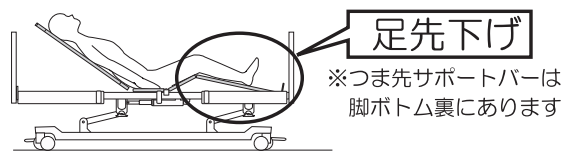
- ①“足先上げ”設定のしかた”右(A)図の2箇所  
脚ボトムネットのすき  
間から、つま先サポート  
バーをしっかりと押さえて、  
脚ボトム裏から外します



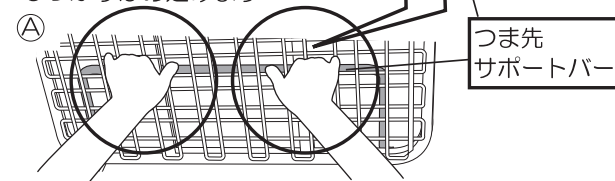
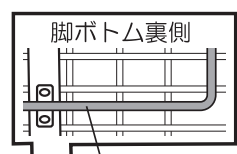
- ②つま先サポートバーがフ  
ットフレーム溝に入った  
ことを確認してください

- ③このままひざ上げします

「足先下げ」設定のしかた

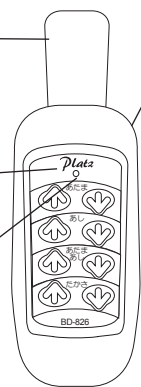
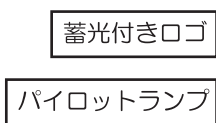
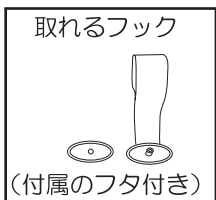


- ①脚ボトムのネット上2箇所  
から、つま先サポートバーを  
挿むようにして脚ボトム裏に  
しっかりとめ込みます



- ②このままひざ上げします

## 手元スイッチ



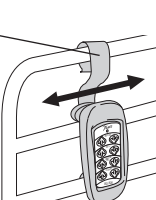
2つの土台 サイドレールのパイプ径に合わせた2つの土台でレールに引  
っ掛けができます

- ・土台のみの引っ掛け

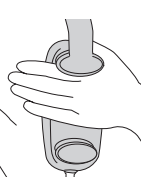
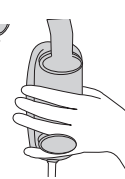
土台

フック

- ・フックと2つの土台  
を引っ掛けることで  
レール上をスライド  
できます

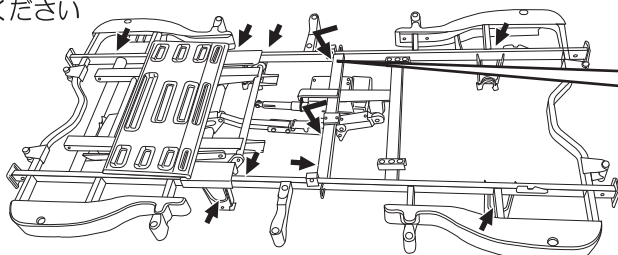


片手で持つ事が可能  
で、片手操作、両手  
操作と様々な使いか  
たができます



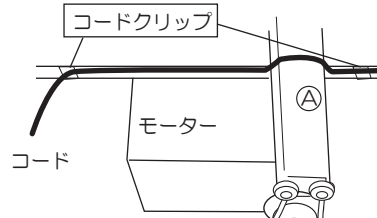
## コードの取り廻し

センターフレーム(2/4)の下図箇所に“コードクリップ”があります  
ご使用状況に合わせ、適当な場所のコードクリップにコードを通して  
お使いください



※ご注意

モーター付近にコードを通すときは、  
A部の上を通してください



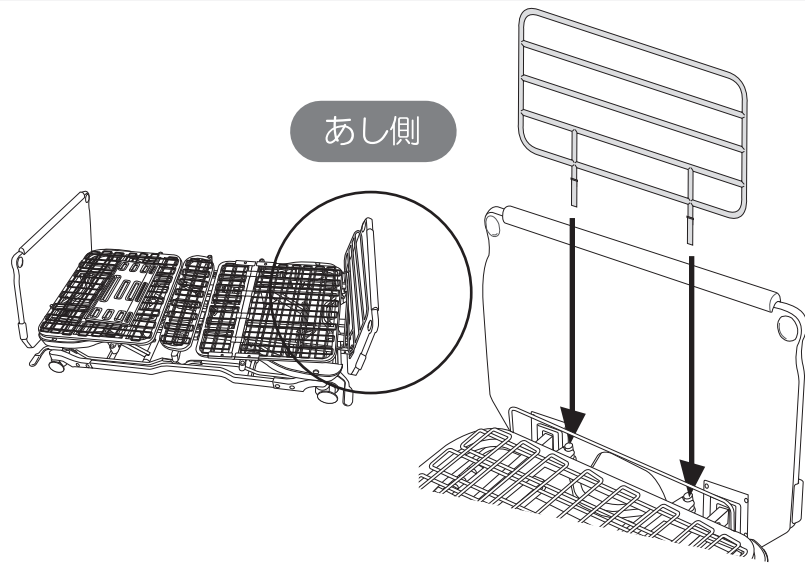
## サイドレール収納ホルダー

脚ボトムとボードの間にサイドレール収納ホルダーがあります  
サイドレールを使用しない時は右図の位置にサイドレールを挿して収納できます

※あたま側は使用出来ません  
「あし側点滴棒取り付け穴」と「サイドレール収納ホルダー」は兼用です

### ⚠ 注意

サイドレール収納ホルダーに挿したサイドレールに手をつかないください  
転倒やけがをする恐れがあります



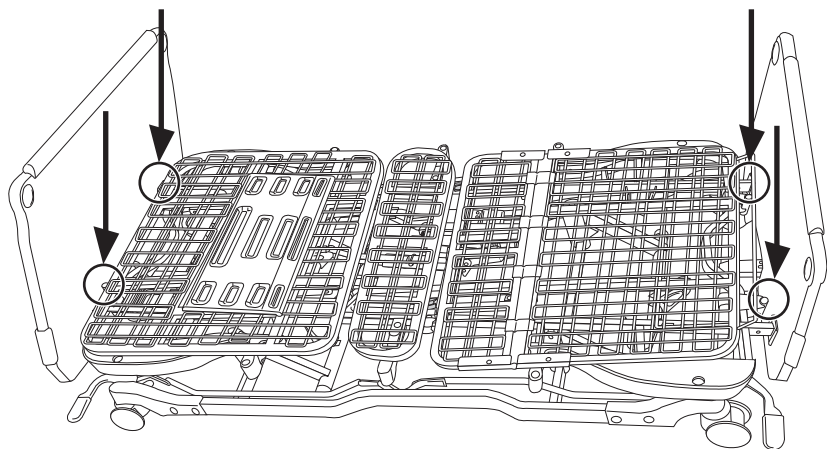
## 点滴棒取り付け穴

あたま側・あし側左右各4か所の点滴棒取り付け穴に点滴棒を取り付けることができます  
点滴棒を取り付けることにより点滴バッグなどを掛けることができます

※「あし側点滴棒取り付け穴」と「サイドレール収納ホルダー」は兼用です

### ⚠ 注意

点滴用のチューブなどをベッドのすき間などに挟まないように注意してください  
チューブなどが破損・変形する恐れがあります



## ハルンバッグ用フック

ハルンバッグ用フックはハルンバッグを取り付けるためのフックです  
サイドレールに取り付けて使用します

引っ掛け部

ハルンバッグ  
引っ掛け部

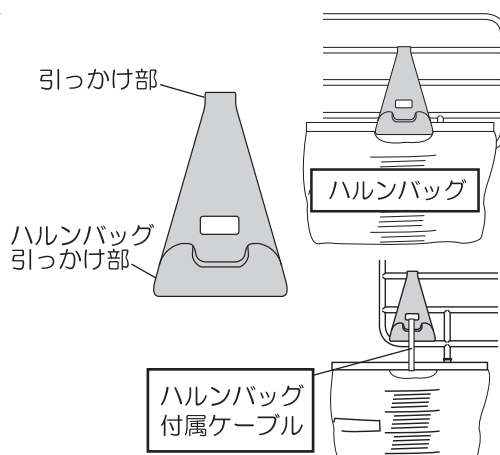
ハルンバッグ  
付属ケーブル

サイドレールを使用しない場合はホルダーにも取り付けすることができます

ホルダー

### ⚠ 注意

ハルンバッグを取り付けるため以外には使用しないでください  
ハルンバッグを使用しない時はフックを取り外してください



型 式	P101-21AA1/P101-21AA2/P101-21AA3		
商品名	2モーターベッド		
ベッド寸法	<p>(単位：cm)</p>		
商品質量	(1/4) : ベースフレーム	33.0kg	商品質量
	(2/4) : センターフレーム	49.5kg	合計
	(3/4) : 背ボトム、腰ボトム、ひざ脚ボトム	18.5kg	116.5kg
	(4/4) : 木ボード	15.5kg	
梱包サイズ 梱包質量	(1/4) : 207.0×108.0×30.0	43.0kg	
	(2/4) : 207.0×107.0×31.0	59.5kg	
	(3/4) : 97.0×92.0×16.0	23.0kg	
	(4/4) : 102.0×63.0×17.5 (cm)	18.0kg	
材 質	本体ユニット：スチール、ABS樹脂 木ボード：MDFオレフィン化粧合板、天然木		
電動動作	無段階自在式 背上げ（背ひざ同時連動/背単独） 背上げ角度（0°～70°）、ひざ上げ角度（0°～25°）、 昇降（床面高25～63cm）		
ボトム形状	通気性に優れたスチールメッシュ方式 ボトム形状は4ブロックに分けてあります		
定格電圧	AC100V、50/60Hz		
定格消費電力	100W		
最大使用者体重	120kg/最大使用荷重：1700N		
原産国	ベトナム		

型 式	P101-31AA1/P101-31AA2/P101-31AA3		
商品名	3モーターベッド		
ベッド寸法	<p>(単位：cm)</p>		
商品質量	(1/4)：ベースフレーム	33.0kg	商品質量
	(2/4)：センターフレーム	53.0kg	合計
	(3/4)：背ボトム、腰ボトム、ひざ脚ボトム	18.5kg	120.0kg
	(4/4)：木ボード	15.5kg	
梱包サイズ 梱包質量	(1/4)：207.0×108.0×30.0	43.0kg	
	(2/4)：207.0×107.0×31.0	63.0kg	
	(3/4)：97.0×92.0×16.0	23.0kg	
	(4/4)：102.0×63.0×17.5 (cm)	18.0kg	
材 質	本体ユニット：スチール、ABS樹脂 木ボード：MDFオレフィン化粧合板、天然木		
電動動作	無段階自在式 背上げ（背ひざ同時連動/背単独） 背上げ角度（0°～70°）、ひざ上げ角度（0°～18°）、 昇降（床面高25～63cm）		
ボトム形状	通気性に優れたスチールメッシュ方式 ボトム形状は4ブロックに分けてあります		
定格電圧	AC100V、50/60Hz		
定格消費電力	100W		
最大使用者体重	120kg/最大使用荷重：1700N		
原産国	ベトナム		

# 適合周辺機器

サイドレール	PA501-TU41/PA501-TU79/PA501-TU119
ベッド用 グリップ	PZR-AT116J/PF500-116
マットレス	<p>適合マットレス：PFM-8980PN/PFM-LD90Ⅱ/ PD500-TU8909/PD501-TU8909 PKM-9080/PKM-E80BR PD502-BP8914/PD503-A9008</p> <p>もしくは下記サイズ、質量を満たす物 サイズ：幅88～91cm×長さ190～195cm 厚さ：最大厚18cm以下           最小厚7cm以上 質量：34kg以下</p>
オーバー テーブル	PGT-400LM
手元スイッチ ホルダー	PE501-D40
エアマット用 ハンガー	PE500-A4050



## ●ベッド本体について

### ○お手入れ

●本体のお手入れは、乾いた柔らかい布で拭いてください

\*著しい汚れを落とす場合は、

薄めた中性洗剤を使用してください

\*製品を水で濡らしたり、ベンジン・シンナー・

オイル類・粉末洗剤などで磨いたりしないでください

殺虫剤をかけたりしないでください

故障・ひび割れ・サビや感電、火災の危険があります



●ベッドの下を掃除される際は電源プラグを抜いてください

●ベッドを踏み台代わりに使用しないでください

●ベッドの下は埃が溜まりやすいので、こまめにお掃除してください

●電動モーター周辺の駆動部は、時々ハケやブラシで掃除してください

掃除される際は電源プラグを抜いてください

また掃除後はモーター、手元スイッチコードが接続されているかご確認ください

●コンセントの根元を樹脂で覆っており発火予防をしておりますが

埃がたまらないようこまめにお掃除してください

### ○点検

●点検前に電源プラグを抜いてください

●各部分のビス・ボルト・ナットが緩んでいませんか？

●ボードなどにガタツキがありませんか？

●電動モーター、手元スイッチコードが正常に装着されていますか？

●コード類にキズ等がありませんか？

●誤作動、異音がありませんか？

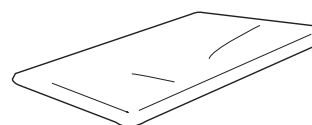
## ●マットレスについて

### ○マットレスを清潔にご使用いただくために

・定期的に通気や換気を行ってください

・定期的の日陰干しをしてください

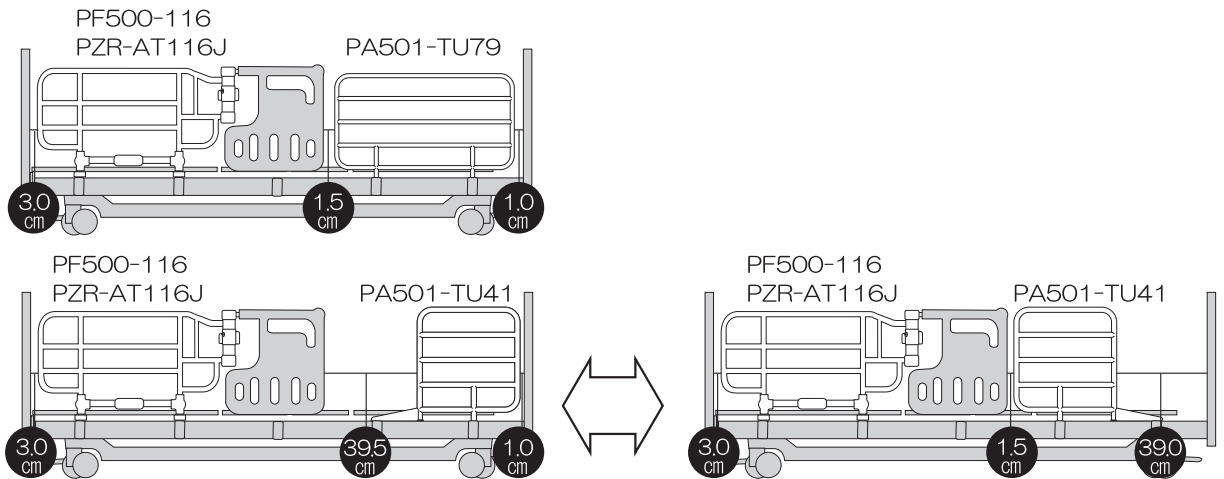
・定期的にもットレス全面に掃除機をかけ、チリやホコリを吸引してください



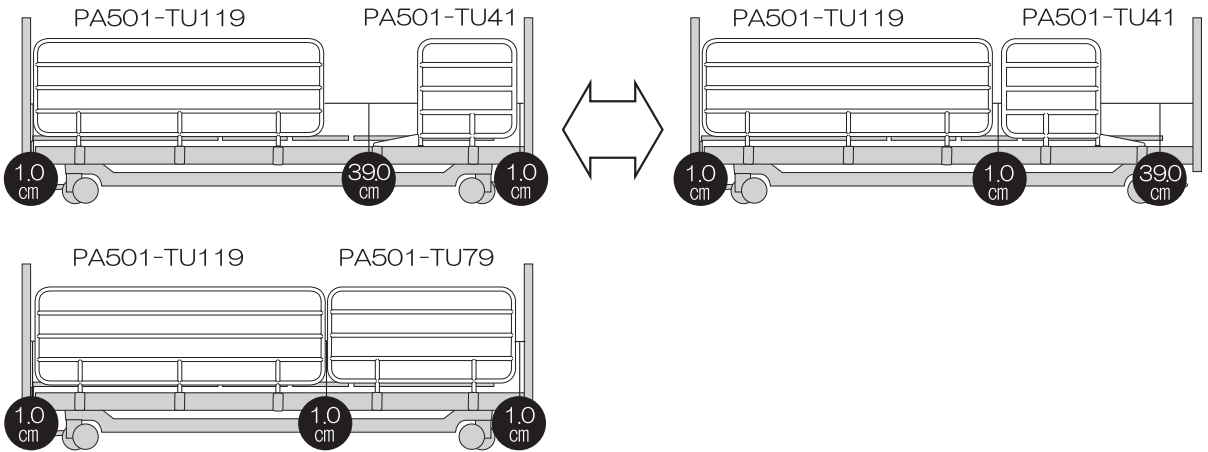
※「日陰干し」→「掃除機でのマットレス全面の吸引」→「日陰干し」を行っていただくより効果的です

# レール類の組み合わせ

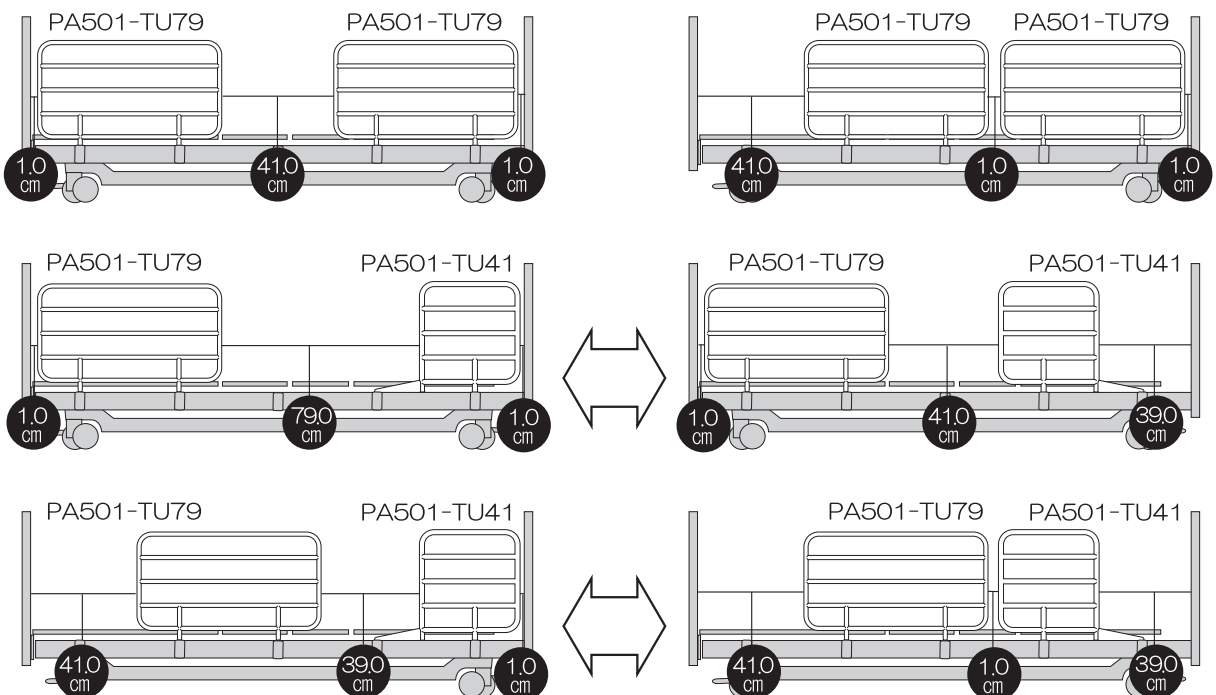
- ベッド用グリップとサイドレールを組み合わせる際の際間



- ロングサイドレールPA501-TU119と他のサイドレールを組み合わせる際の際間

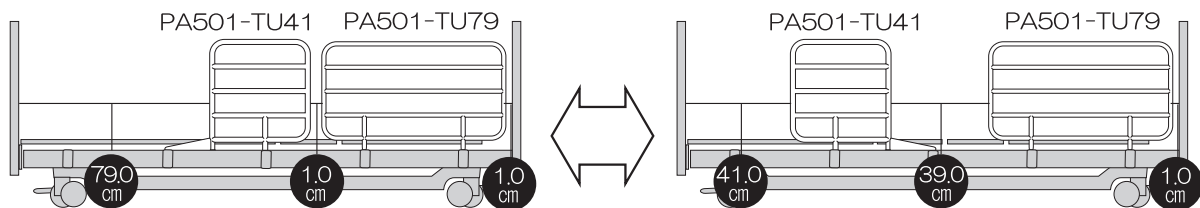


- サイドレールPA501-TU79と他のサイドレールを組み合わせる際の際間

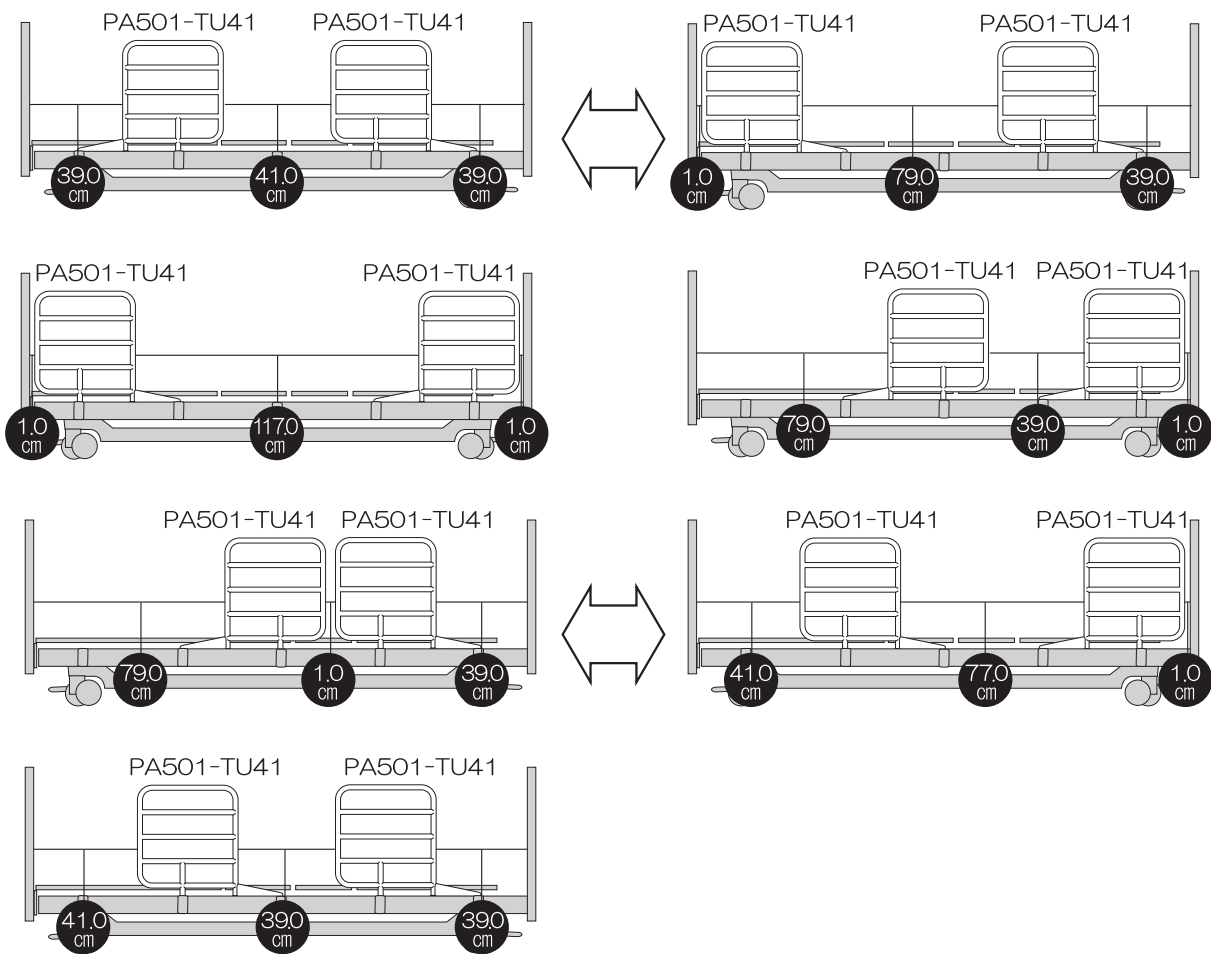


# レール類の組み合わせ

## ● サイドレールPA501-TU41とPA501-TU79を組み合わせる際の際間



## ● サイドレールPA501-TU41とPA501-TU41を組み合わせる際の際間



# 停電時の背下げ操作方法

停電時に背ボトムを手動で下げる方法です。

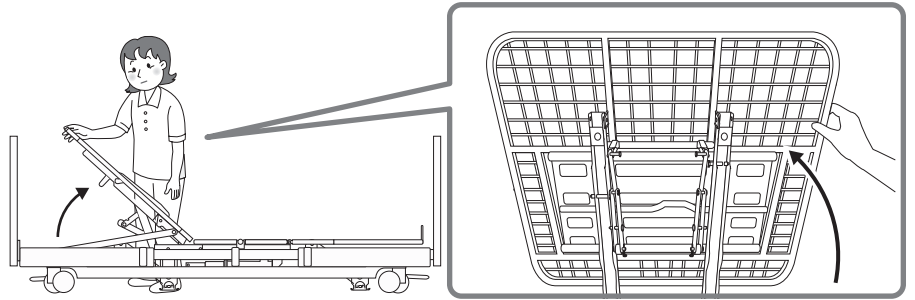
※作業時は、ご利用様は必ずベッドから降りていただき、作業を行ってください。

※電源プラグはコンセントから抜いてください。

※危険防止のため、作業は2人以上で行ってください。

①ご利用様と寝具を  
ベッドから降ろします

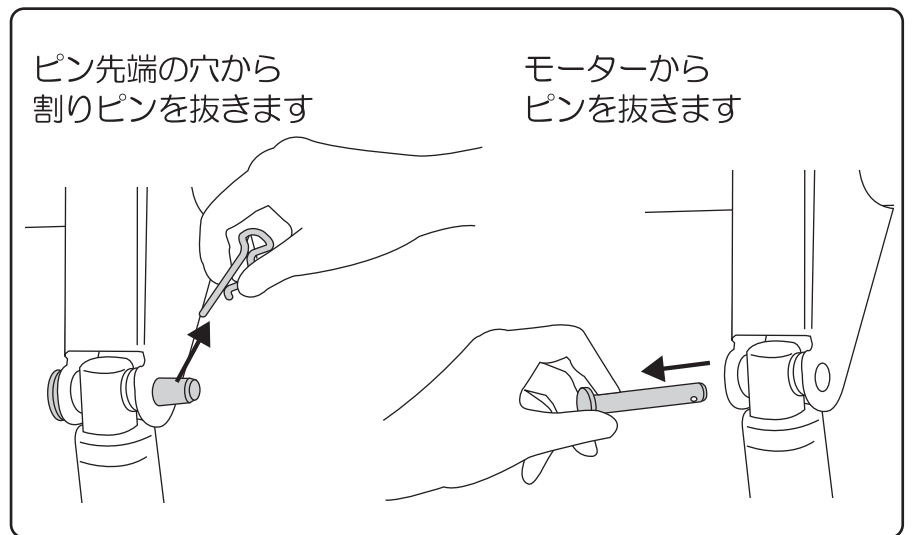
②背ボトムを手で上げて  
ください  
作業は背ボトムを手で  
支えて行ってください



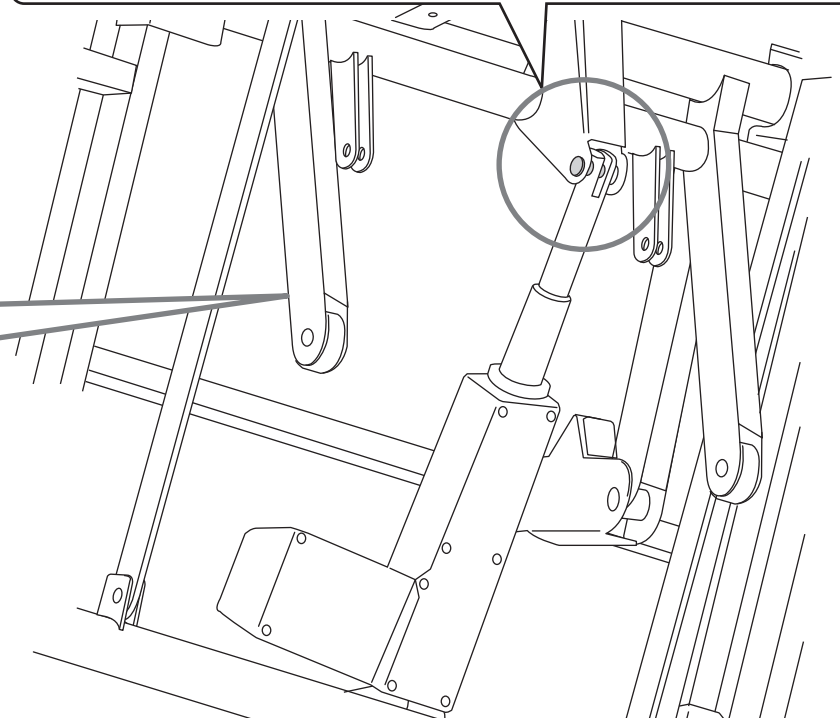
③背上げモーター先端の  
割りピンとピンを  
外してください

ピン先端の穴から  
割りピンを抜きます

モーターから  
ピンを抜きます



ここを支えながら  
ピンを  
外してください

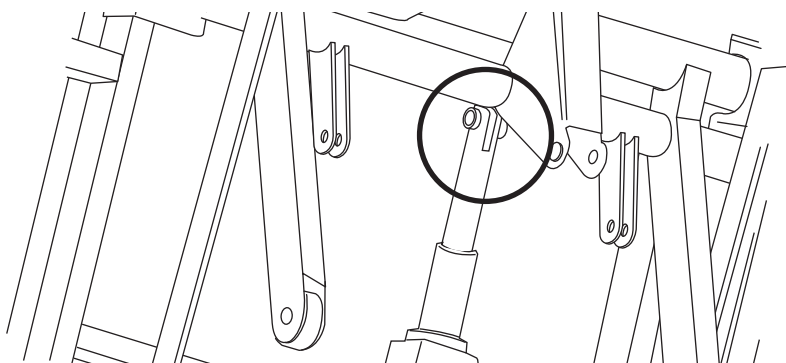


**警告**

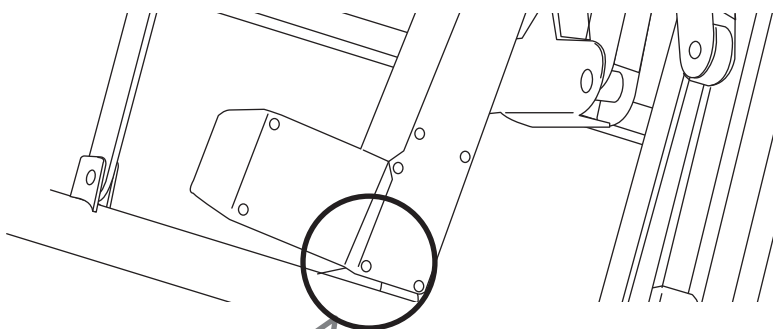
危険防止のため  
作業は2人以上で  
行ってください

## 停電時の背下げ操作方法

- ④ 背上げモーター先端を下ろしてください



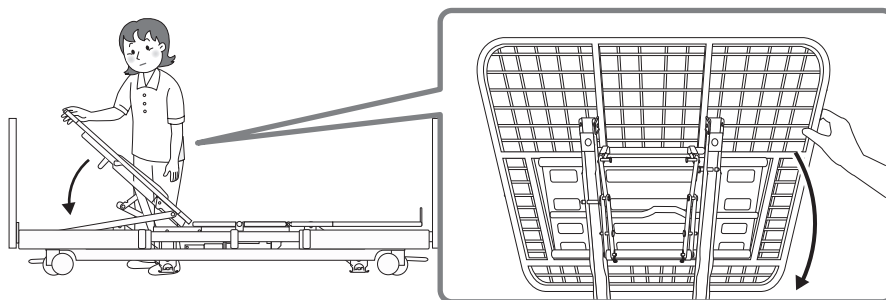
- ⑤ 背上げモーター根元側のピンと割りピンを抜いてください



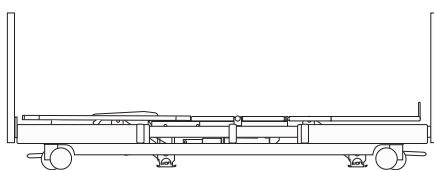
ピン先端の穴から  
割りピンを抜きます

ピンを抜きます

- ⑥ 背上げモーターを  
ヘッドフレームから  
外します



- ⑦ 背ボトムを下ろします



### ⚠ 警告

危険防止のため  
作業は2人以上で  
行ってください

電力が回復しましたら、逆の手順で元に戻してご使用ください  
外した割りピンとピンは、背ボトムを元に戻す際に使用しますので  
保管しておいてください

## 故障について

故障かな…！？ 製品が動かないときは、下記項目を確認してください

症状	確認していただきたいこと	処置
製品が動かない	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグをコンセント（AC100V）に挿し込んでください
	延長コードのプラグが抜けていませんか？	延長コードのプラグが抜けていないか、延長コードに故障がないかを必ず確認してください
	電源プラグが破損していませんか？	販売店または弊社にご相談ください
	手元スイッチ、またはモーターのコードが抜けていませんか？	手元スイッチ、およびモーターのコネクタの挿込口に挿し込んでください
	ご家庭のブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーを確認してください

■サービスを依頼される前に、取扱説明書の37ページ「故障について」の項目にしたがって確認してください

それでも直らない場合は、お買い上げの販売店か下記フリーアクセスまでご連絡ください



— 商品に関してのお問合せは下記へ —

**0120-77-3433**

《平日 午前9時～午後5時30分》（土日祝祭日・夏季休業日・年末年始休業除く）

## プラッツネットワーク

■本社	〒816-0921 福岡県大野城市仲畑2丁目3-17	TEL:092-584-3434
■関東支店	〒105-0014 東京都港区芝2丁目16-9	TEL:03-5427-8033
■東海支店	〒465-0093 愛知県名古屋市中東区一社 3丁目108	TEL:052-704-2700
■関西支店	〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町4-6-4-2F	TEL:06-6233-2105
■九州支店	〒816-0921 福岡県大野城市仲畑2丁目3-17(本社内)	TEL:092-584-3433
●東北営業所	〒984-0038 宮城県仙台市若林区伊在字東通29	TEL:022-781-7072
●中四国営業所	〒721-0907 広島県福山市春日町7-2-6	TEL:084-946-6000
●北海道営業所	〒003-0005 北海道札幌市白石区東札幌五条1-2-22-102	TEL:011-807-4750

## ご連絡いただきたい内容

- ①商品名及び型式（表紙記載）
- ②お買い上げの販売店（別添保証書記載）
  - ・故障内容（出来るだけ詳しく）
  - ・ご住所/お名前/お電話番号
  - ・お買い上げ日



### 保証書（別添え）

お買い上げ日/販売店/お名前を必ず記入し、保証書の内容をよくお読みになって大切に保管してください  
（※保証書の再発行は致しません）

### 保証期間について

保証期間はお買い上げ日から3年間です  
保証期間内は、保証書の記載内容に基づき無償で修理致します  
但し、保証期間内でも有償修理になる場合がありますので、詳しくは保証書の内容をご覧ください

### 保証期間を 過ぎている場合

修理及び部品交換にて対応可能であれば、有償にて修理致します

### 修理代について

修理代は、部品料、基本出張料、技術料で構成されます

- 部品料…修理で使用した部品代です
- 基本出張料…お客様のご依頼により、技術者がお届け先まで出張する際に発生する費用です
- 技術料…商品の診断・故障箇所の修理等の作業にかかる費用です

※注：お買い上げ時の送り状等を保管いただくことをおすすめします



— 商品に関してのお問合せは下記へ —

**0120-77-3433**

《平日 午前9時～午後5時30分》（土日祝祭日・夏季休業日・年末年始休業除く）

株式会社 **プラッツ** 〒816-0921 福岡県大野城市仲畑2丁目3-17 TEL:092-584-3434

©ホームページ <http://www.platz-ltd.co.jp/>

'16.04月作成 TS160405